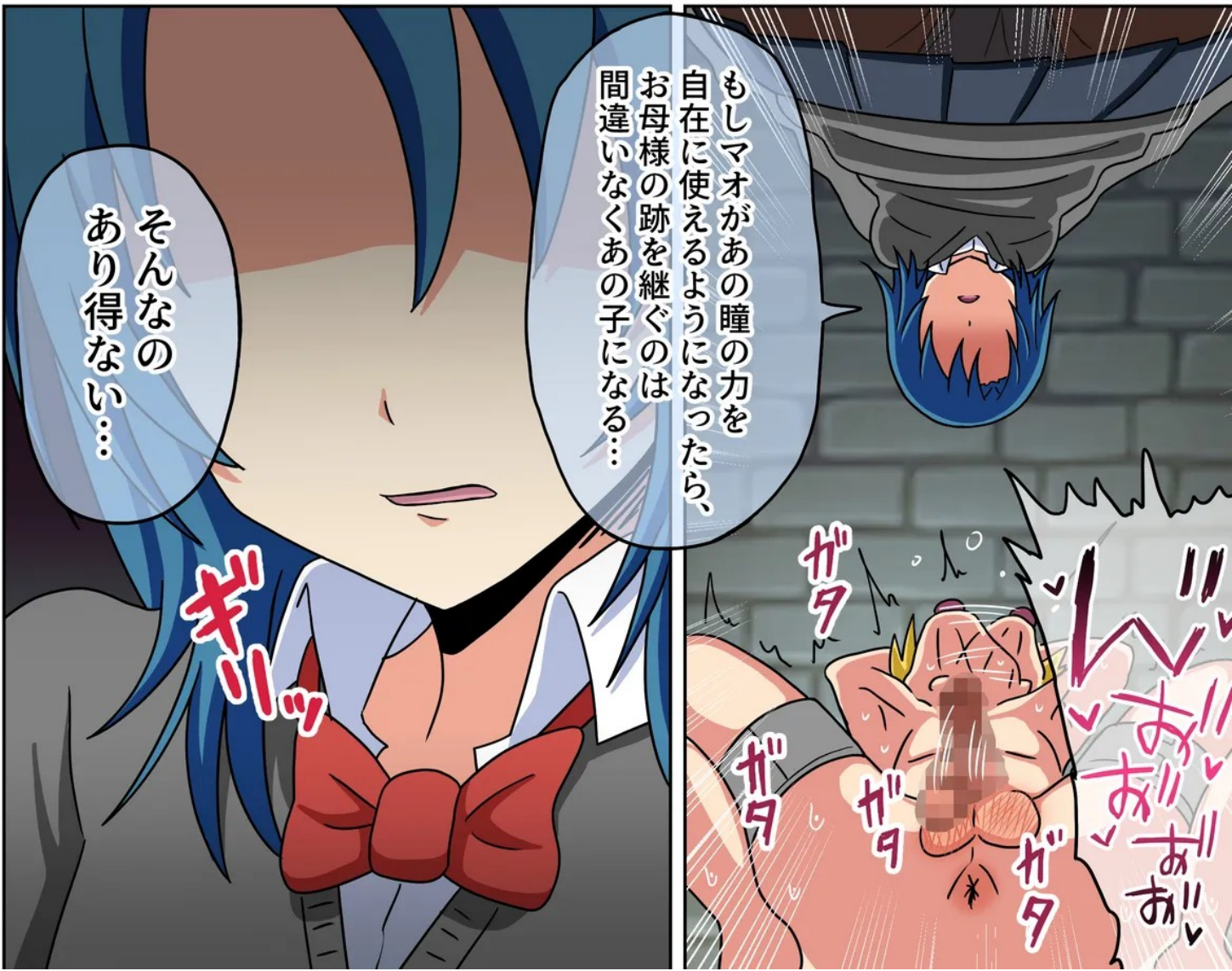




だから
君の玉、潰すね？

!?



もしマオがああ瞳の力を
自在に使えるようになったら、
お母様の跡を継ぐのは
間違いなくあの子になる...

そんなの
あり得ない...

ギィッ

ガタ

ガタ

ガタ

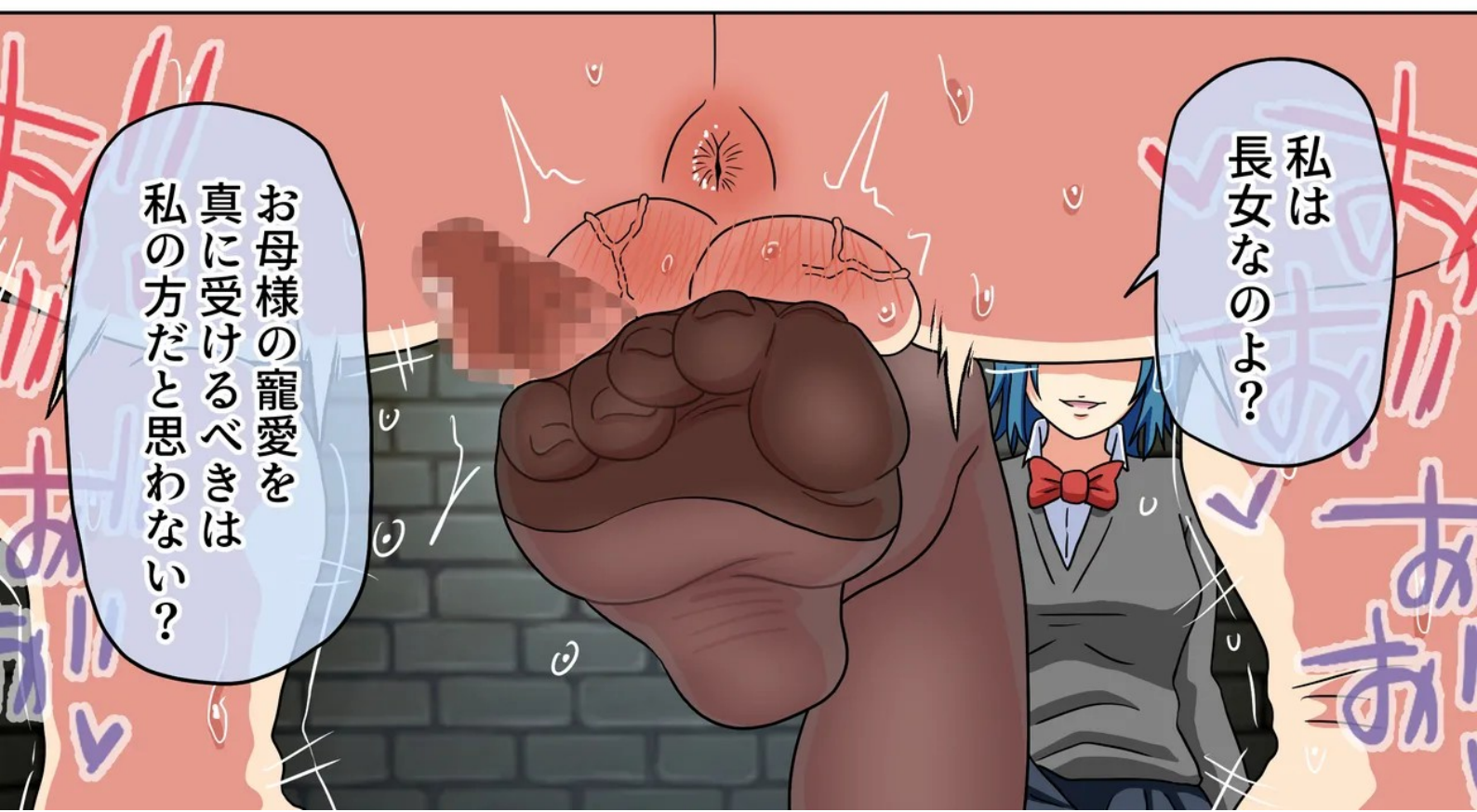
ガタ

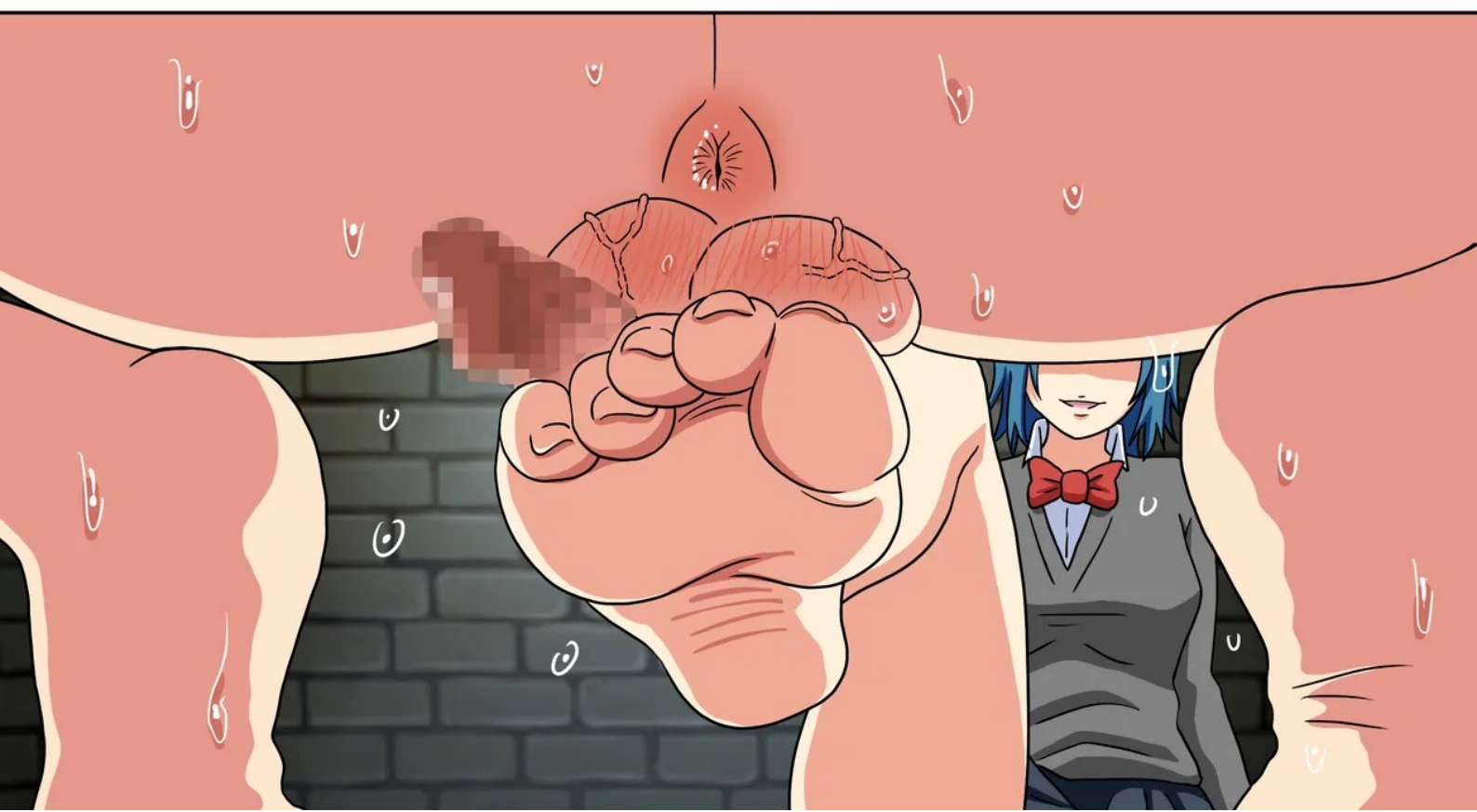
お!!
お!!
お!!
お!!

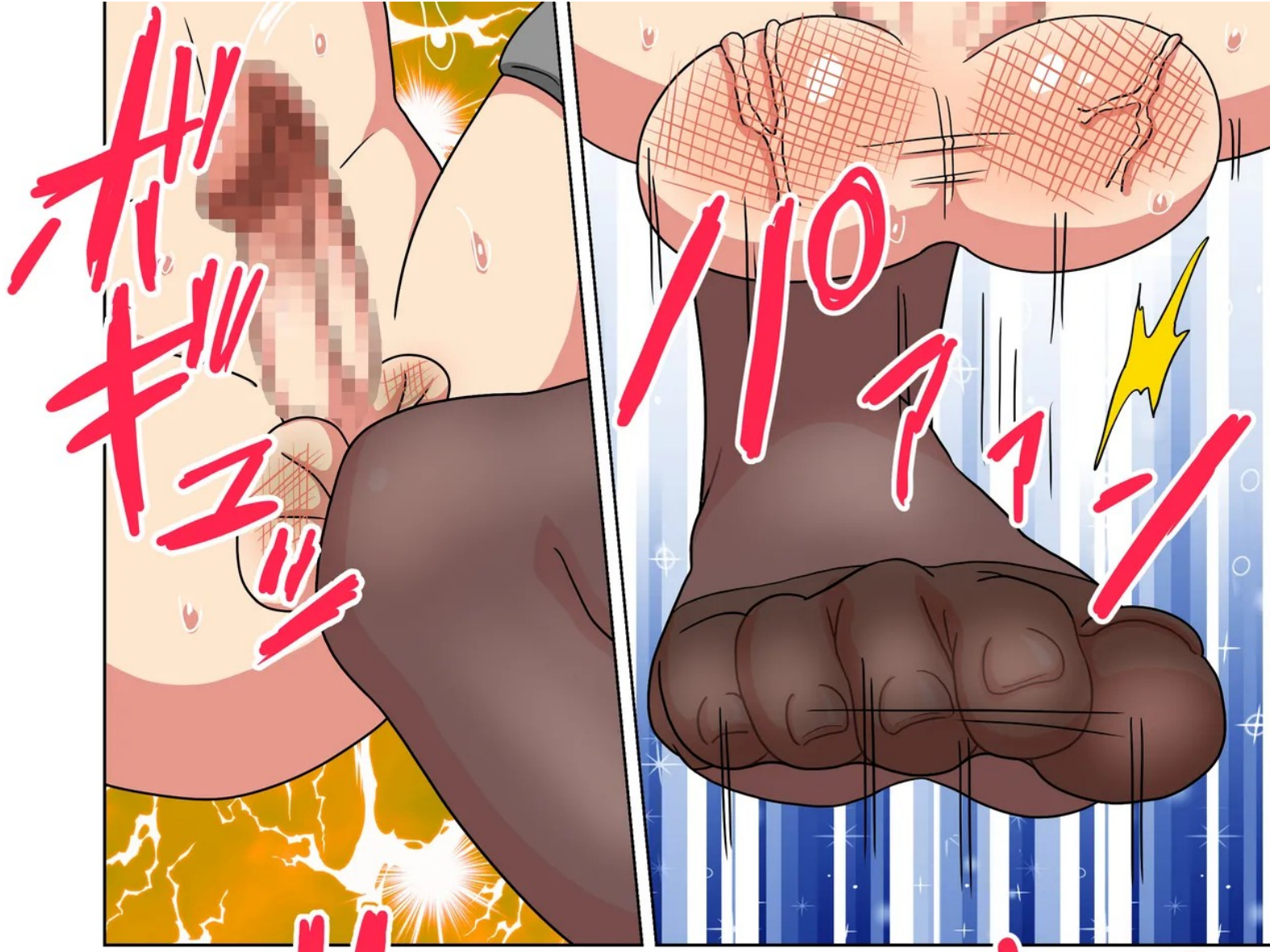


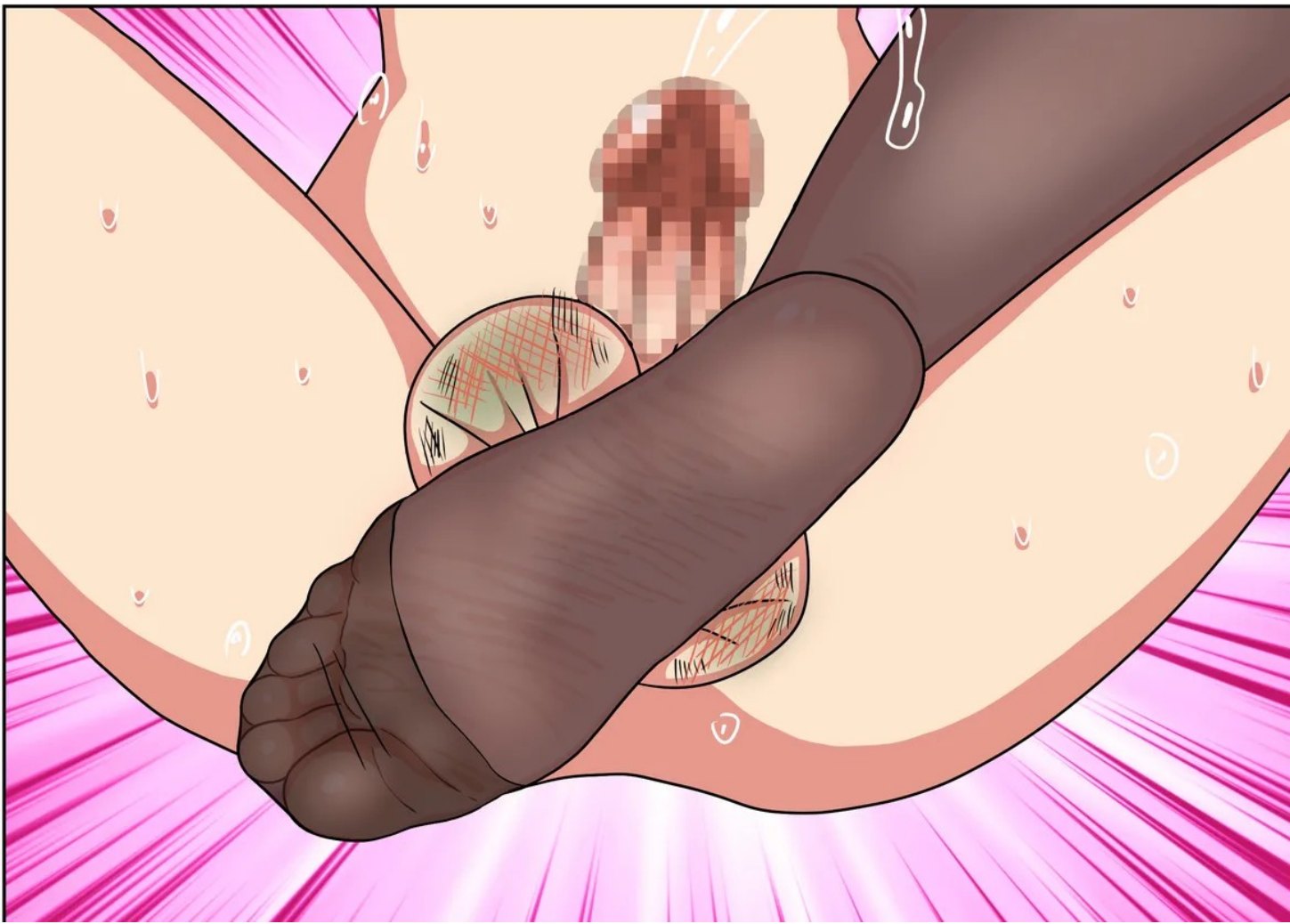
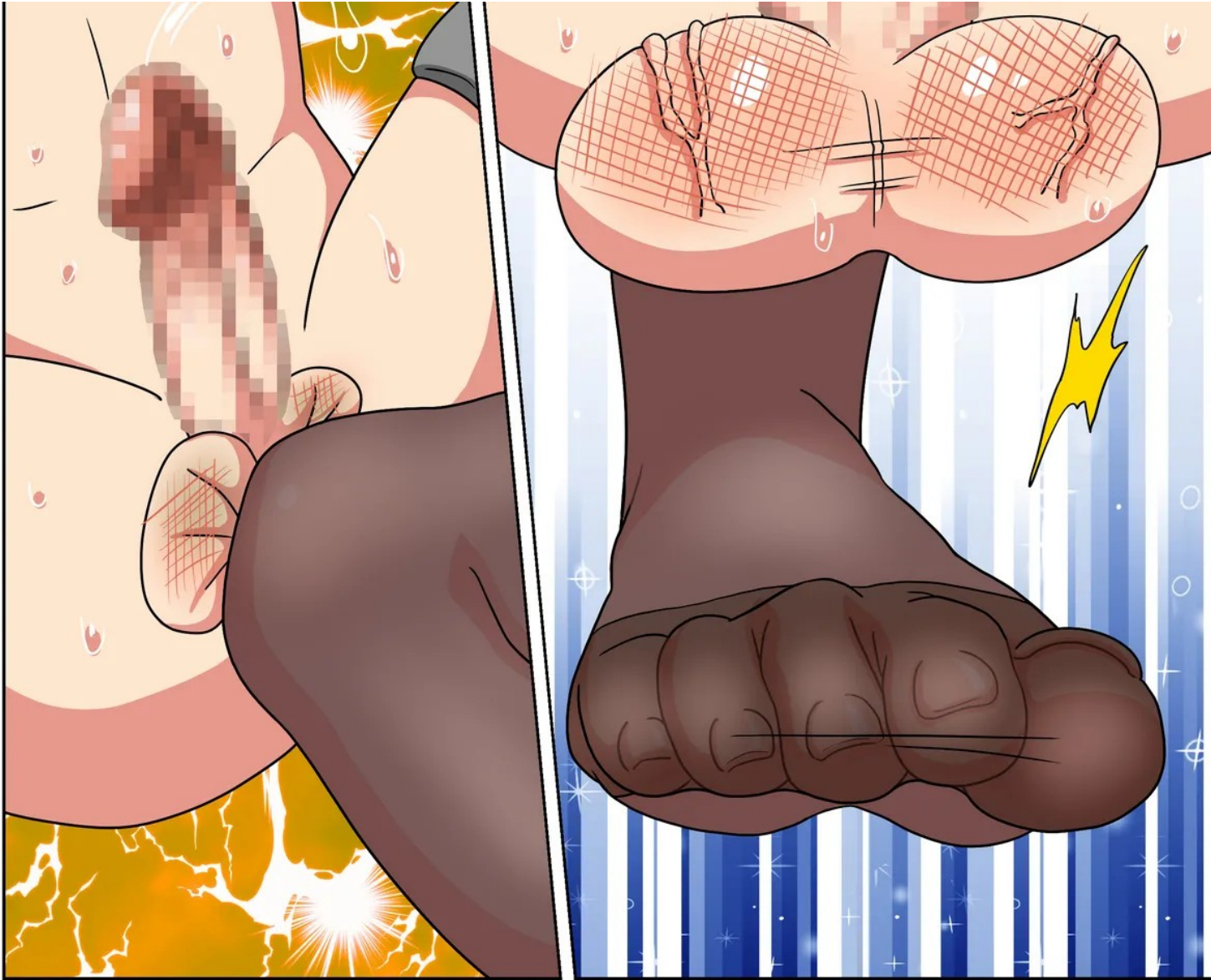


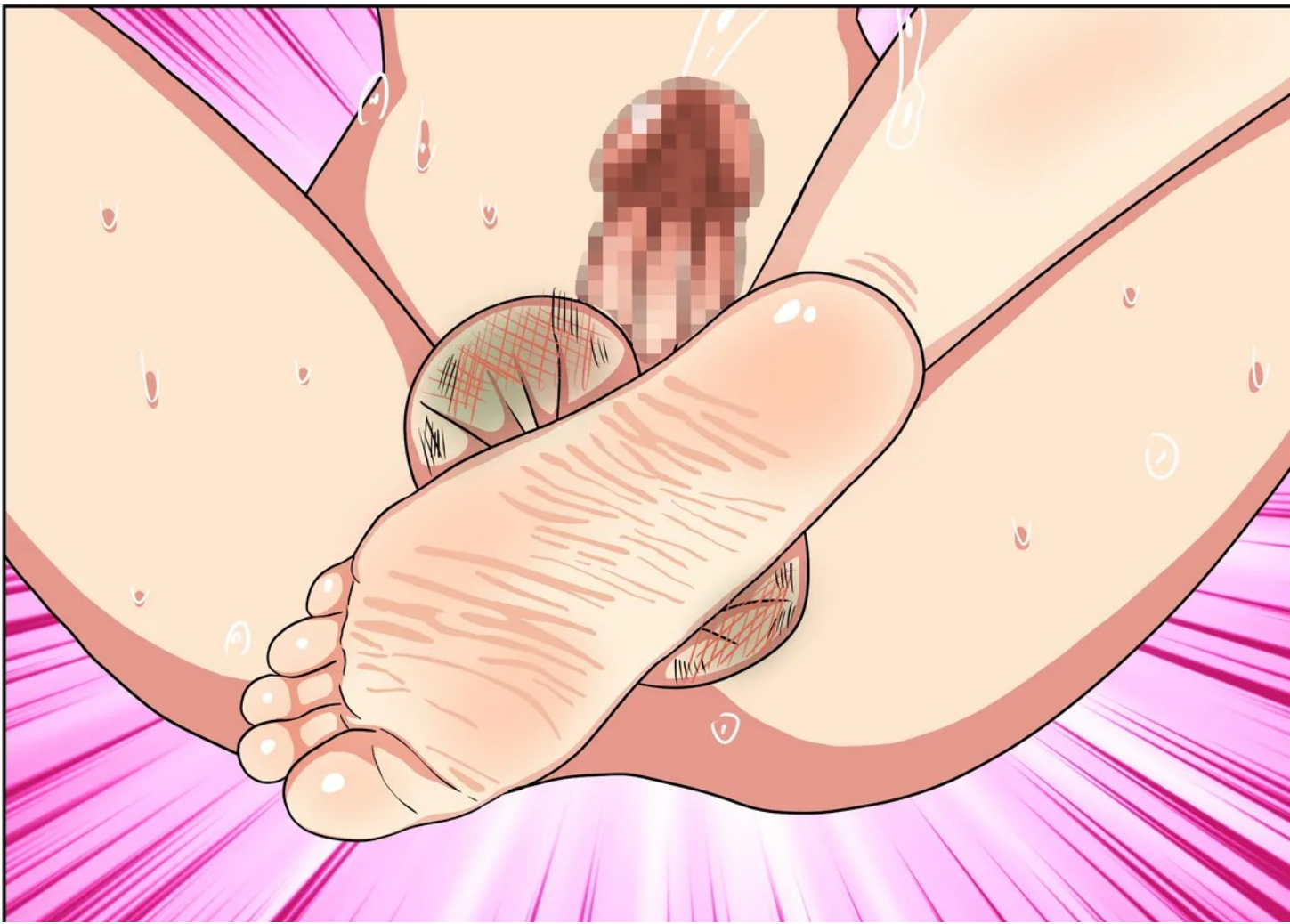
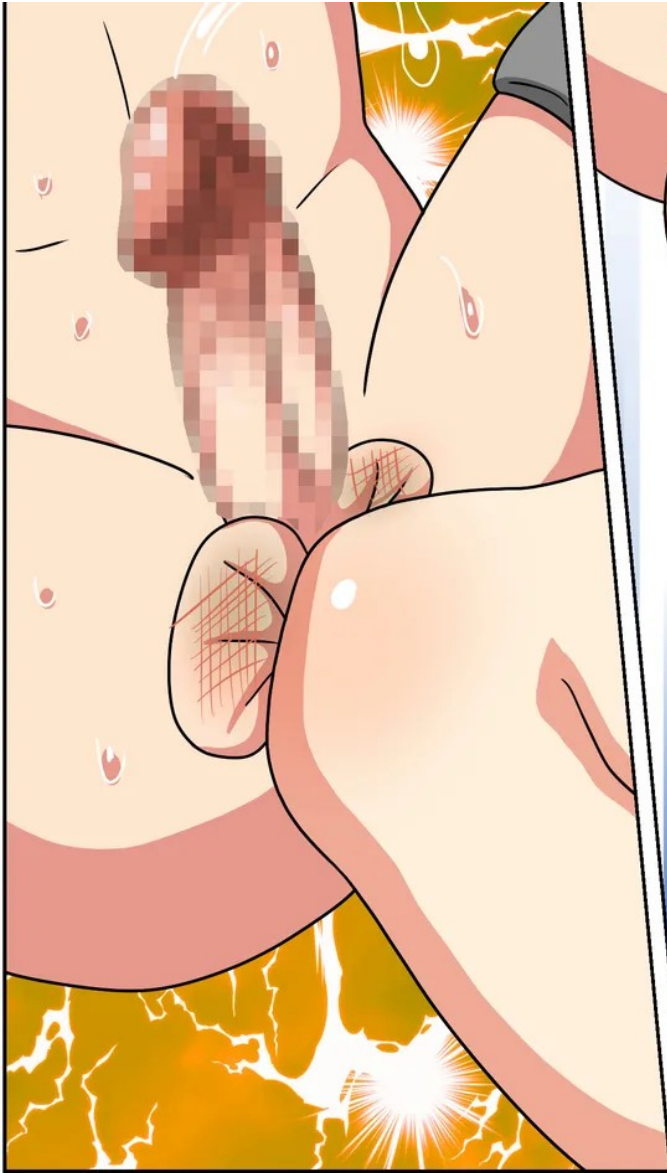


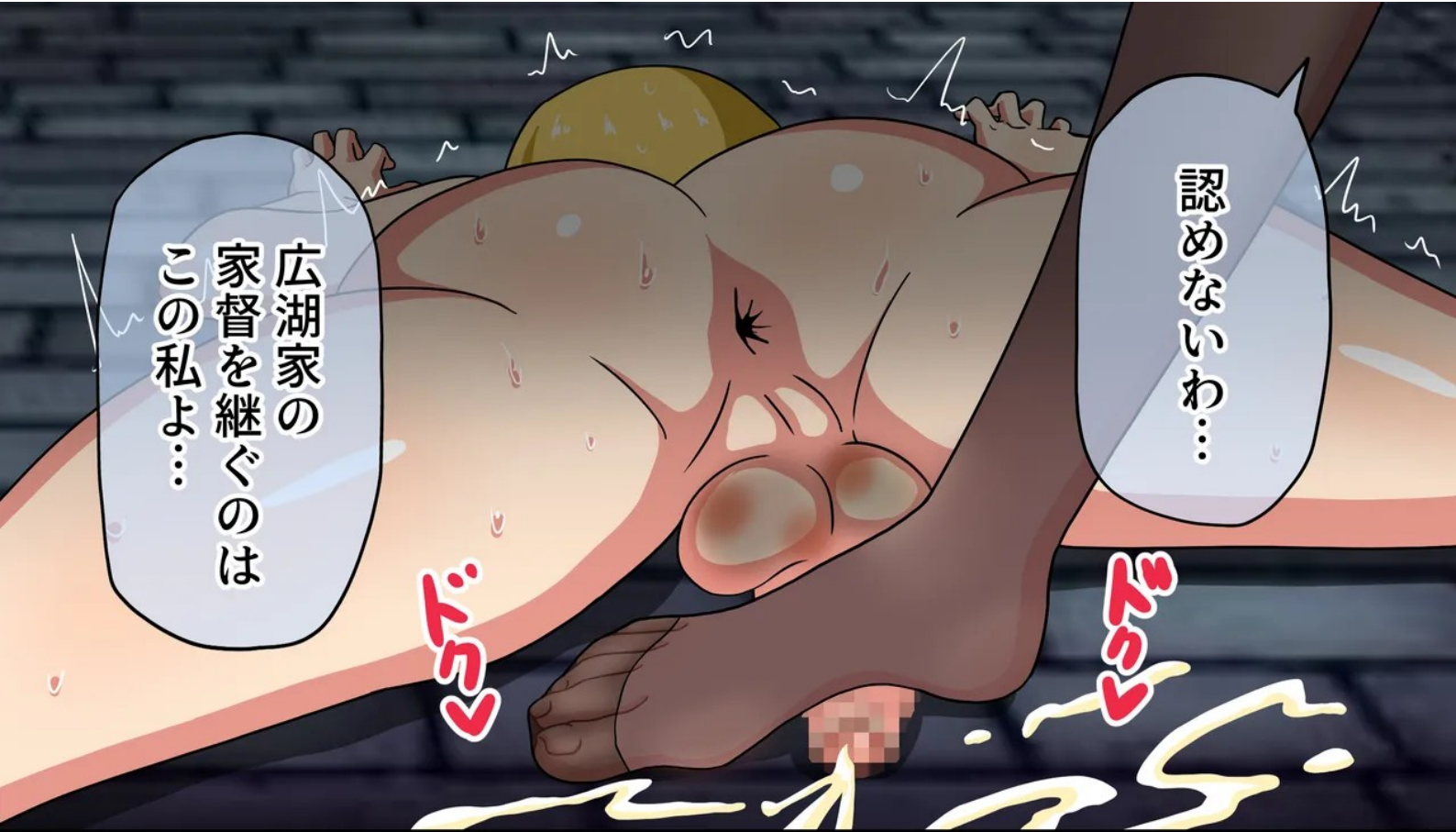












広湖家の
家督を継ぐのは
この私よ…

認めないわ…



だって私は

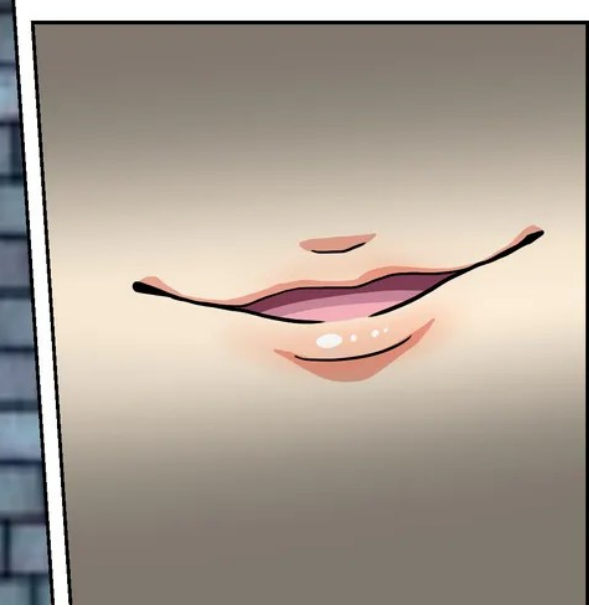
アンタの
お姉ちゃん
なんだから♡

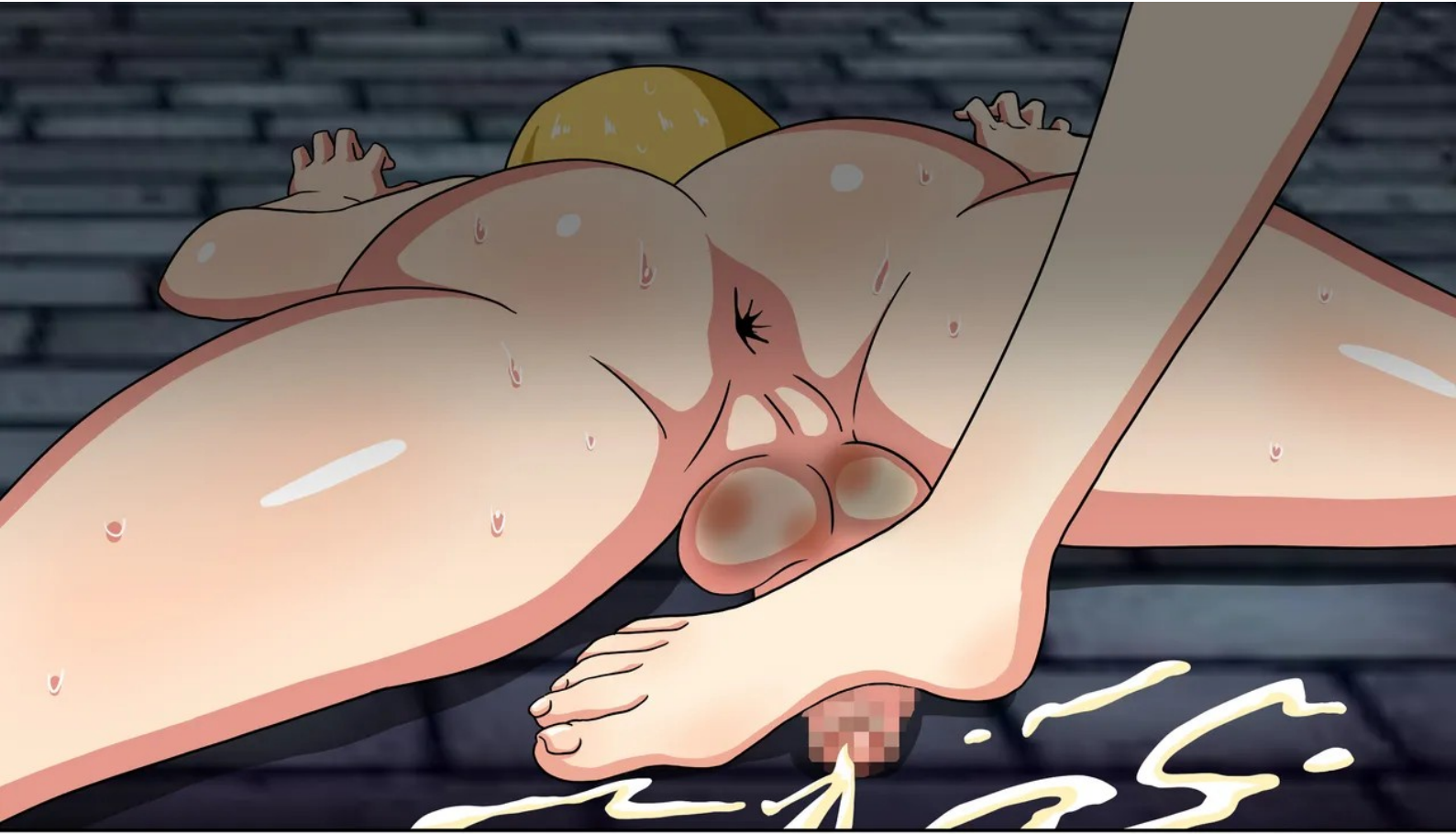


アンタの物は
すべて
私のモノ



そうでしよう？
マオ…





ケイ：
あなたの
お父さんはね

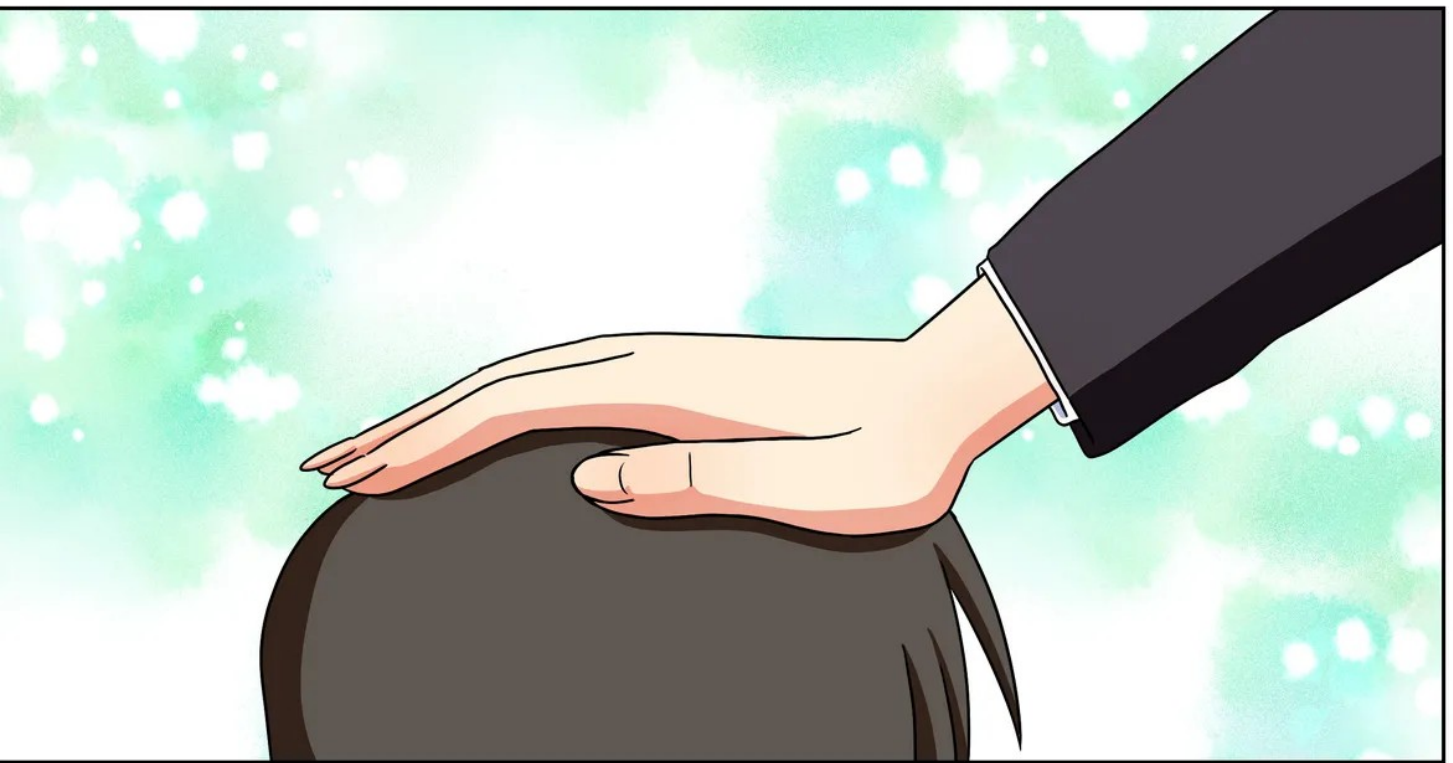
私やアナタよりも
他の女を選んだのよ

私はケイに
そんな無責任な
大人になって
ほしくないわ！

うん：
お母さん

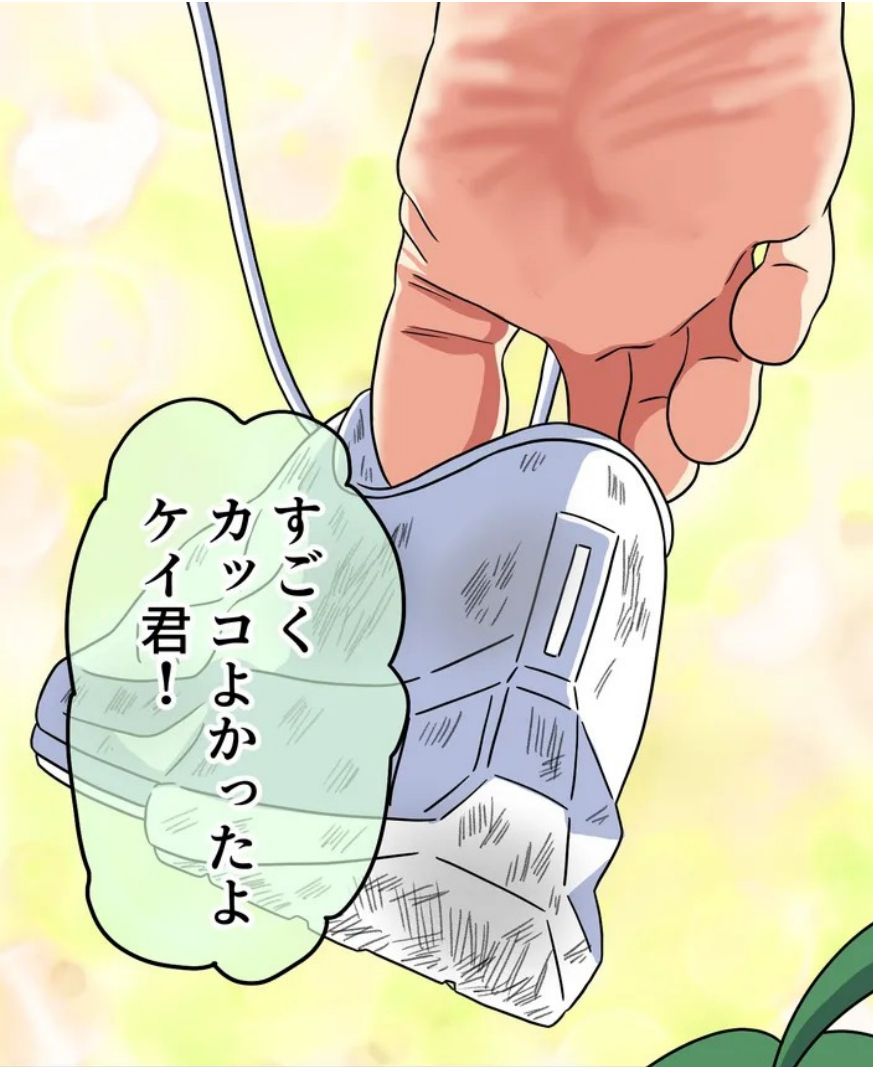
ケイ
覚えておいて：
浮気するような
男はみんな

寂しがり屋な
ただの
快楽主義者よ









すごく
カッコよかったよ
ケイ君!



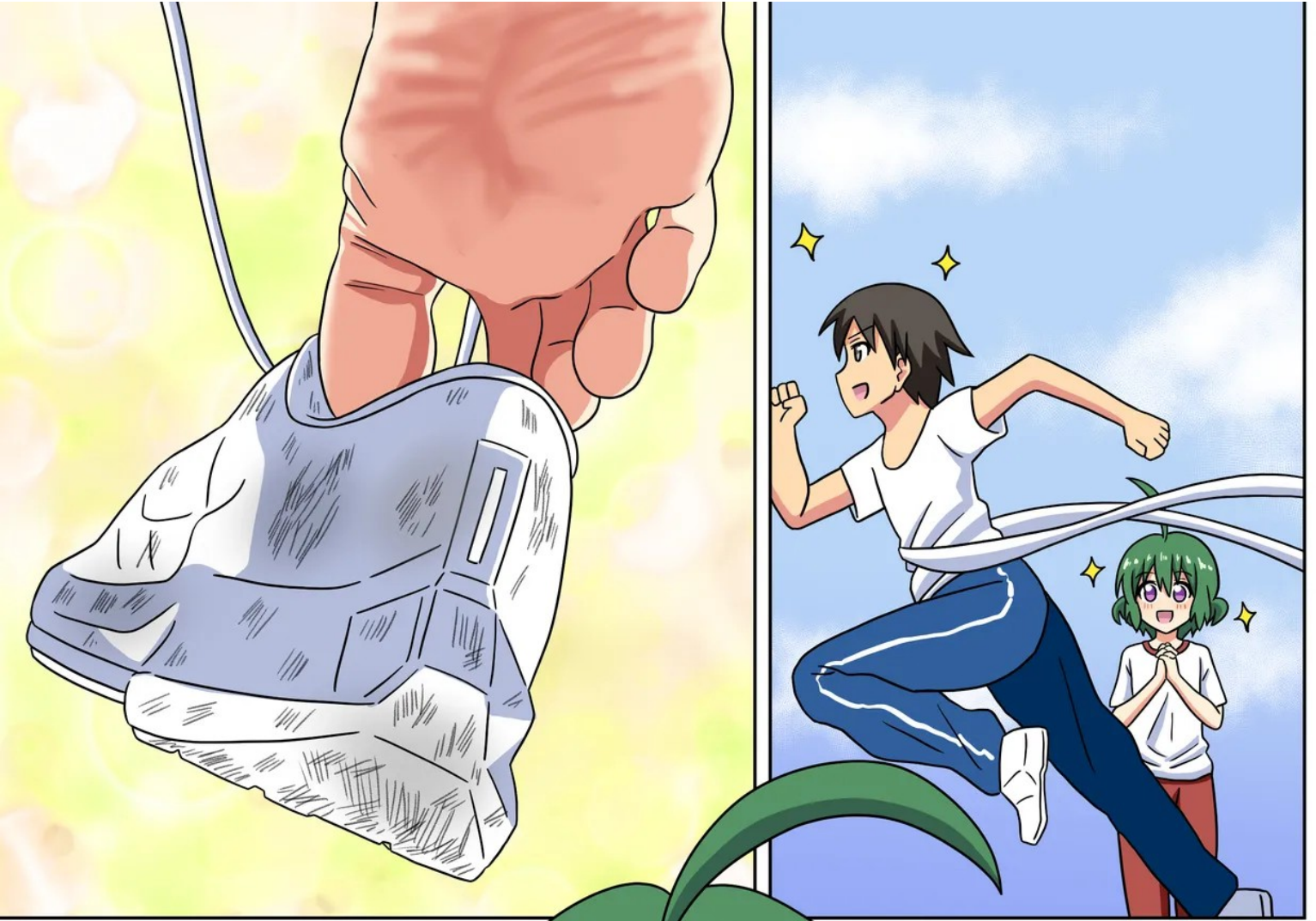
そしてイノリに
かっこいいところを
見せれば…



ご褒美に
私の靴の匂い

いっぱい
嗅がせてあげるっ♡

モわぁ…♡









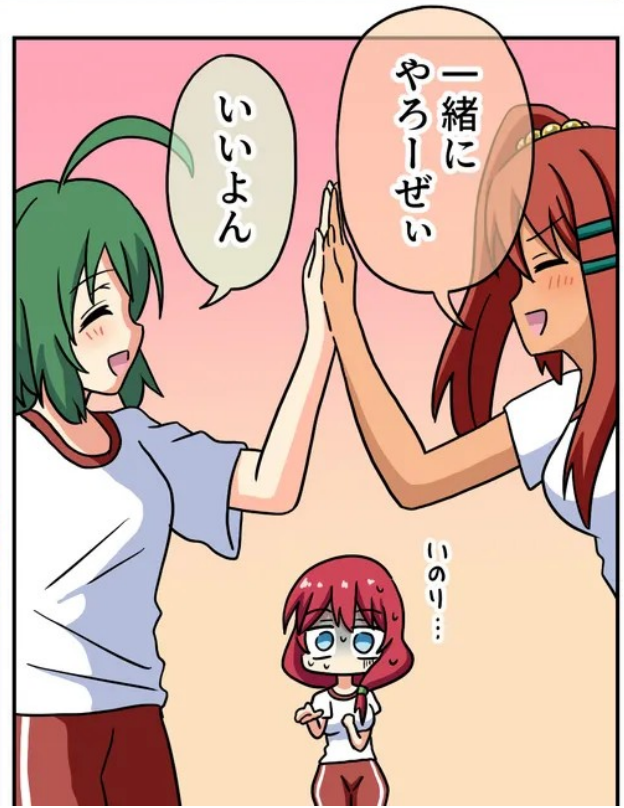


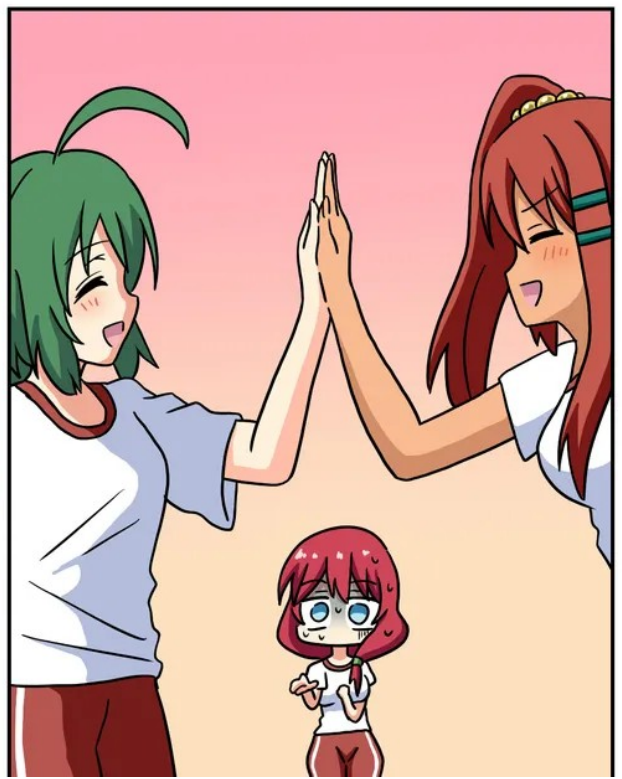




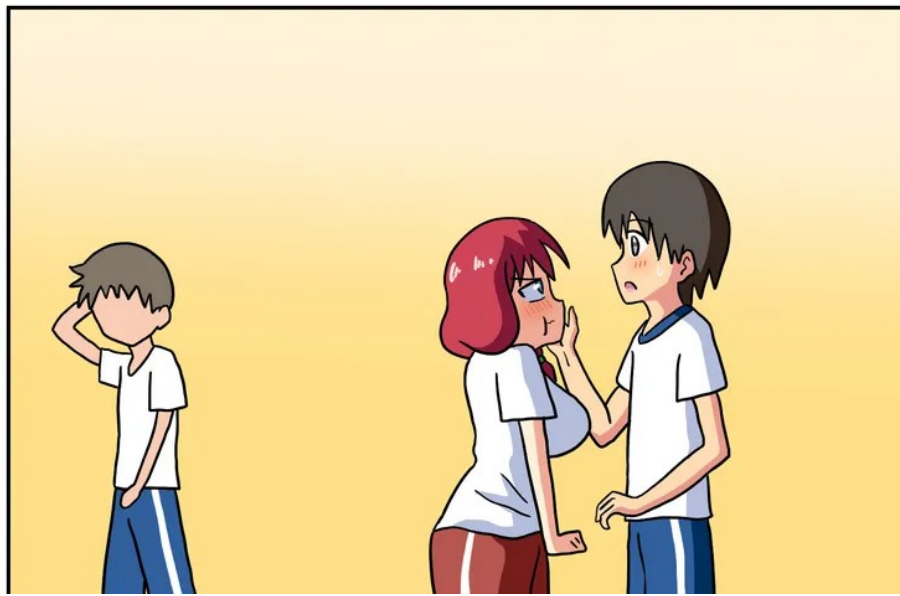
グラウンド場

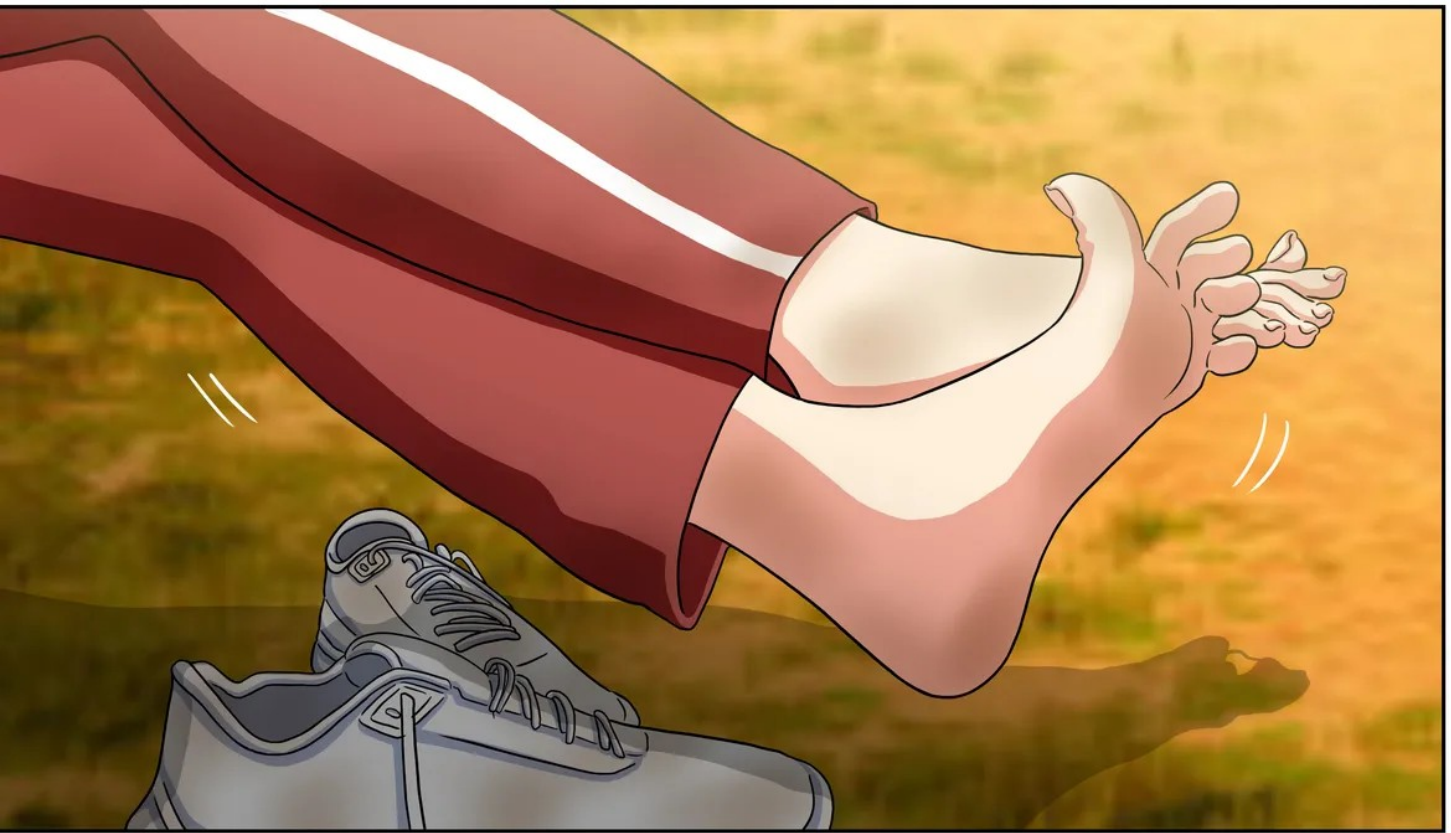
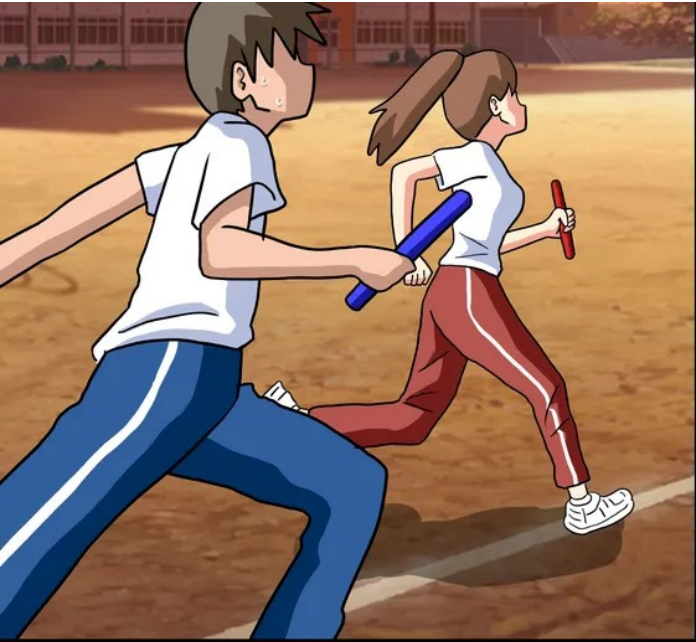
放課後

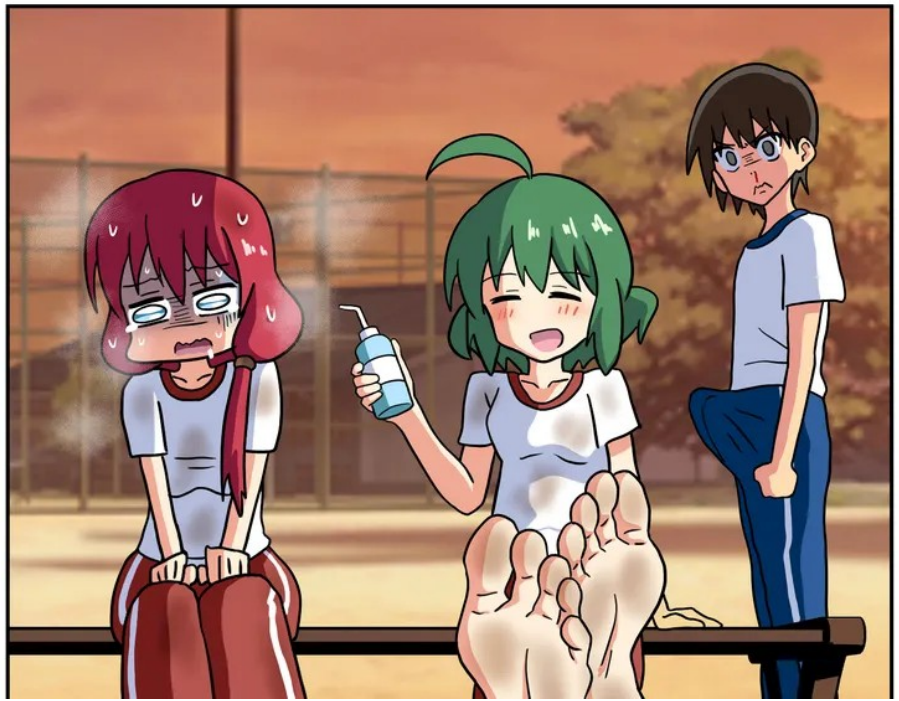
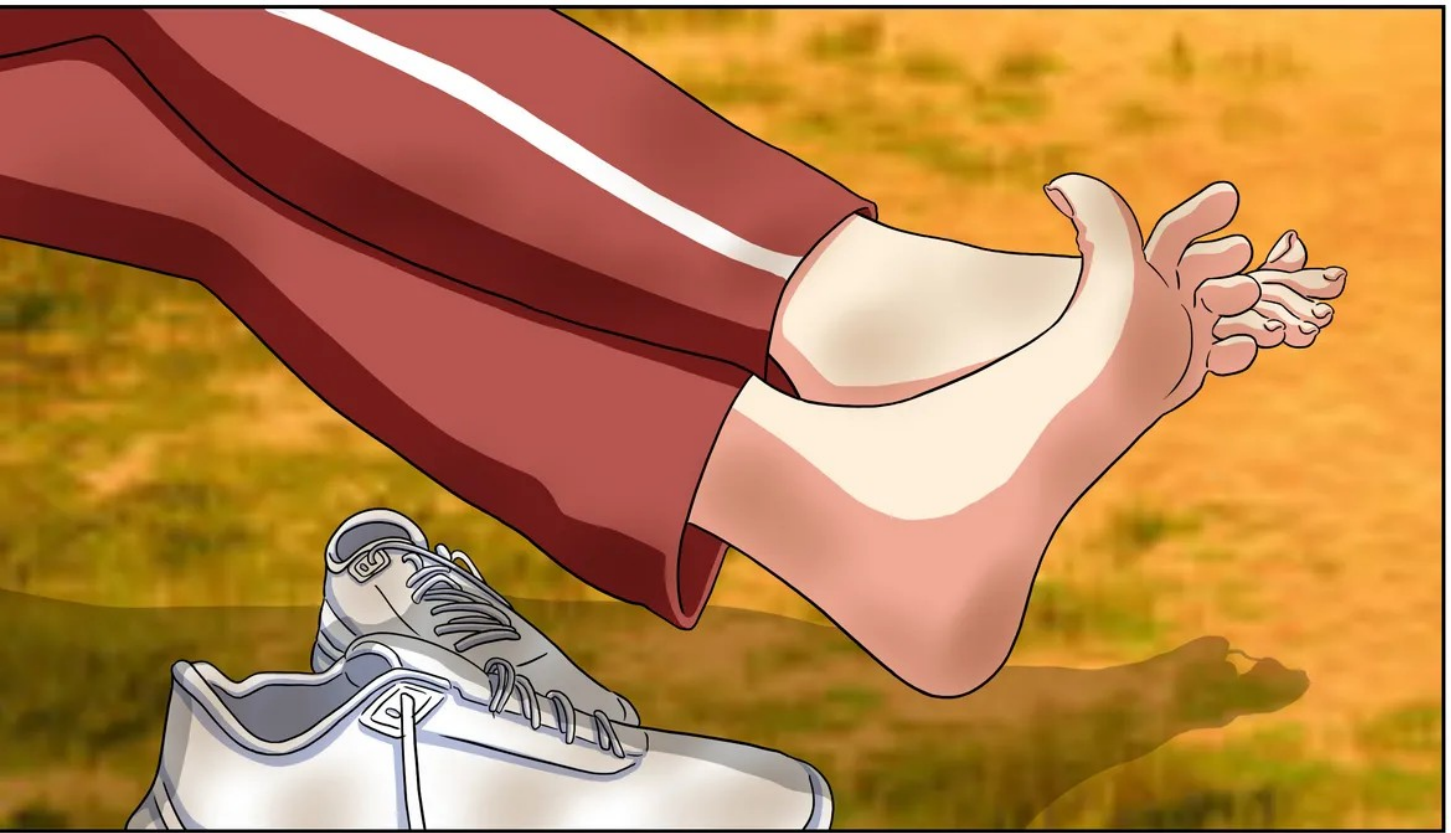
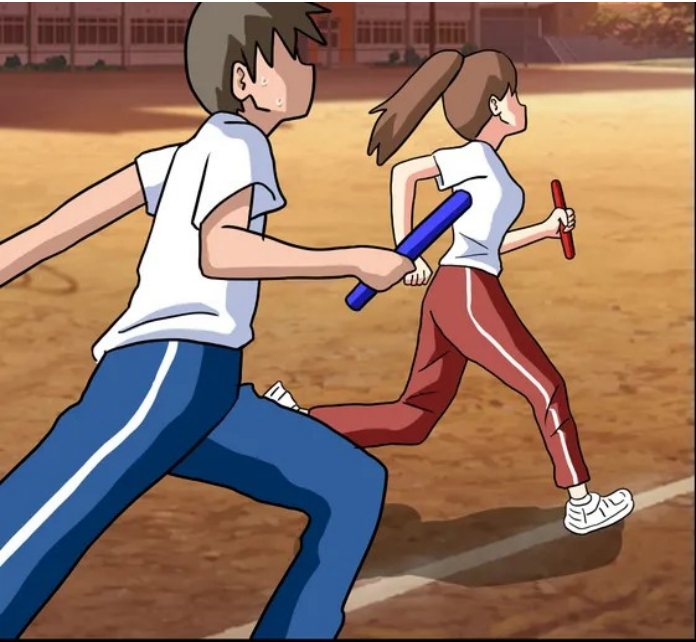






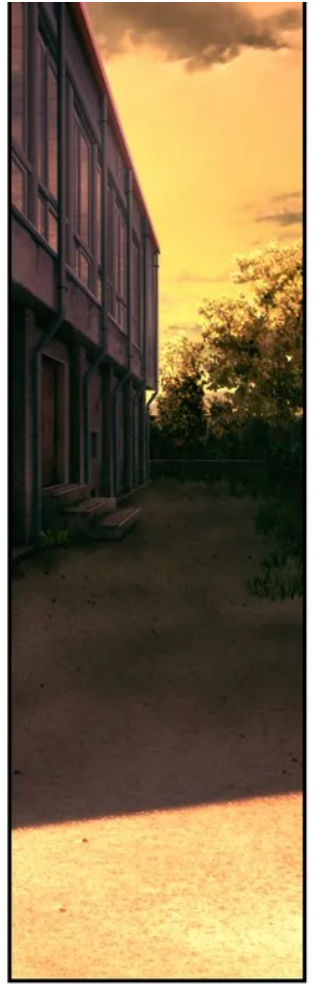






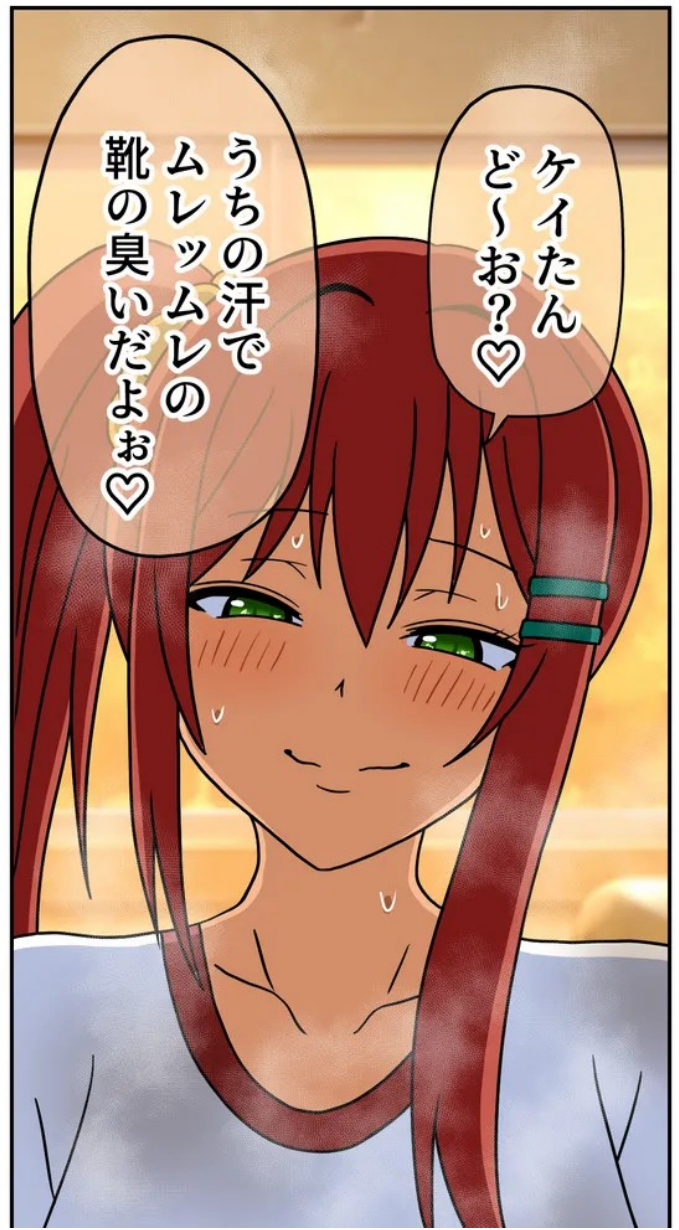






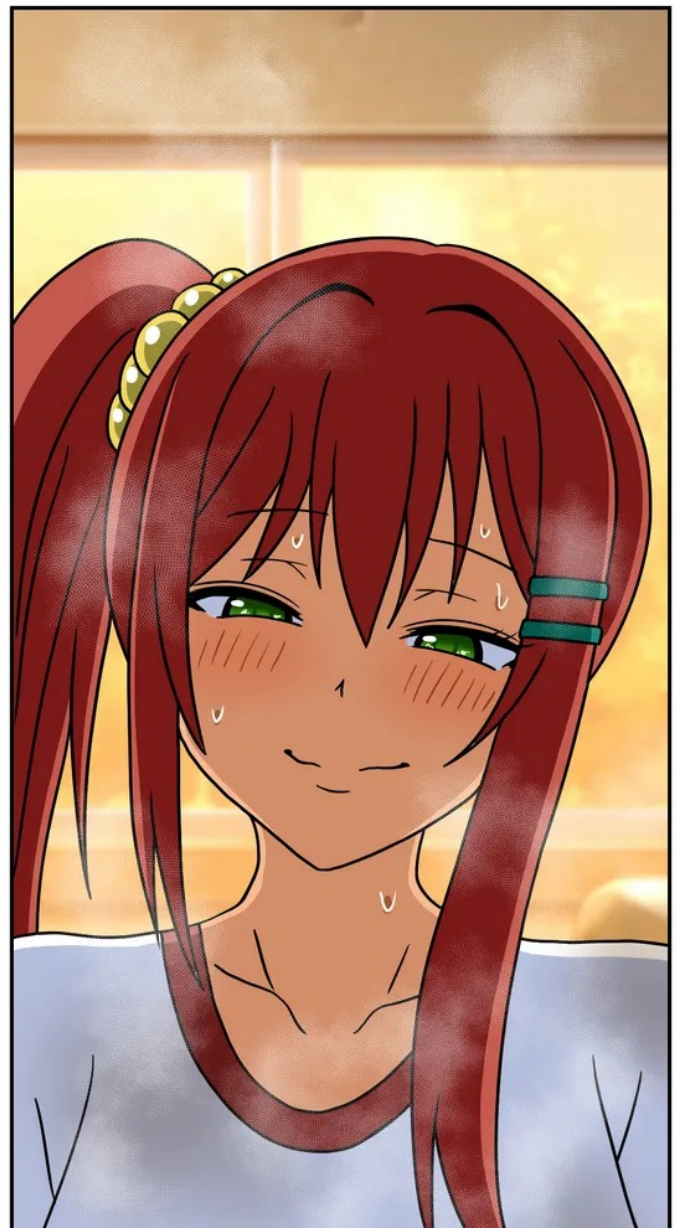
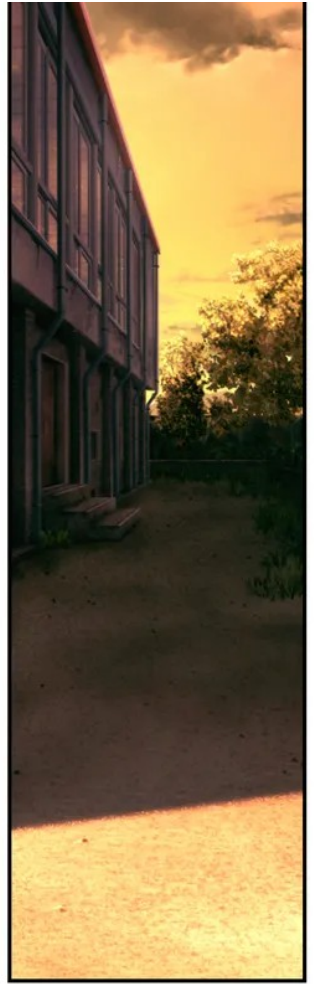
んむおおおおおおおっ♡

もわ〜び



ケイたん
どうお?♡

うちの汗で
ムレツムレの
靴の臭いだよお♡





ケイさんの
極太チンポ♡

キタキタ♡



それとも
もっとキツイ臭い
じゃないと
ダメなのかなあ?♡

ま...
まっ...♡

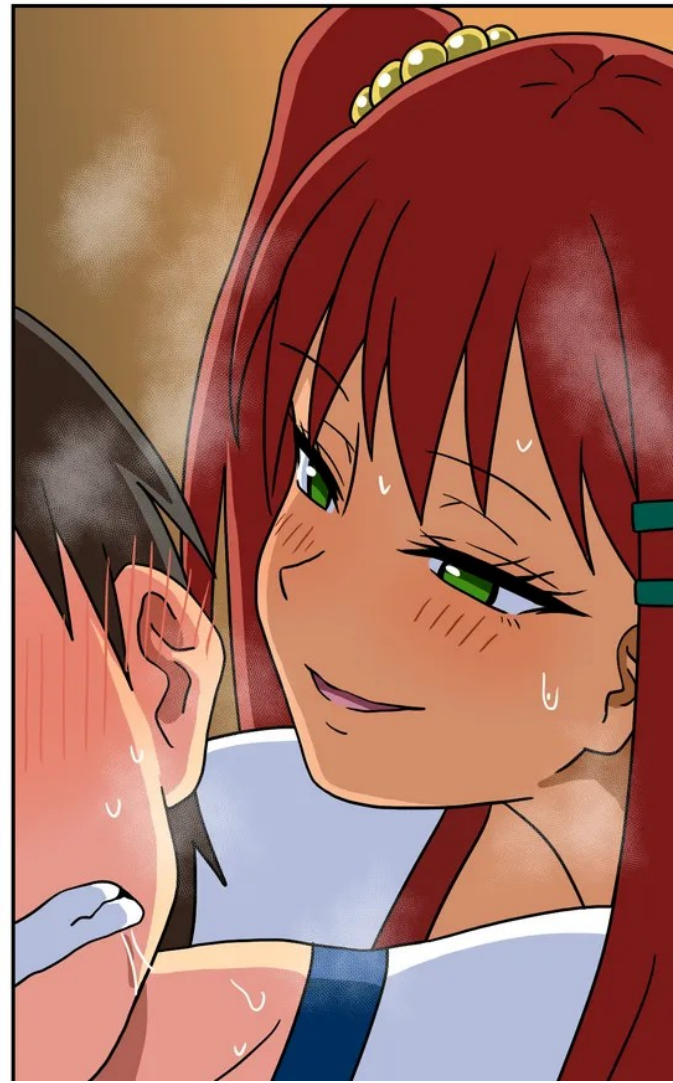
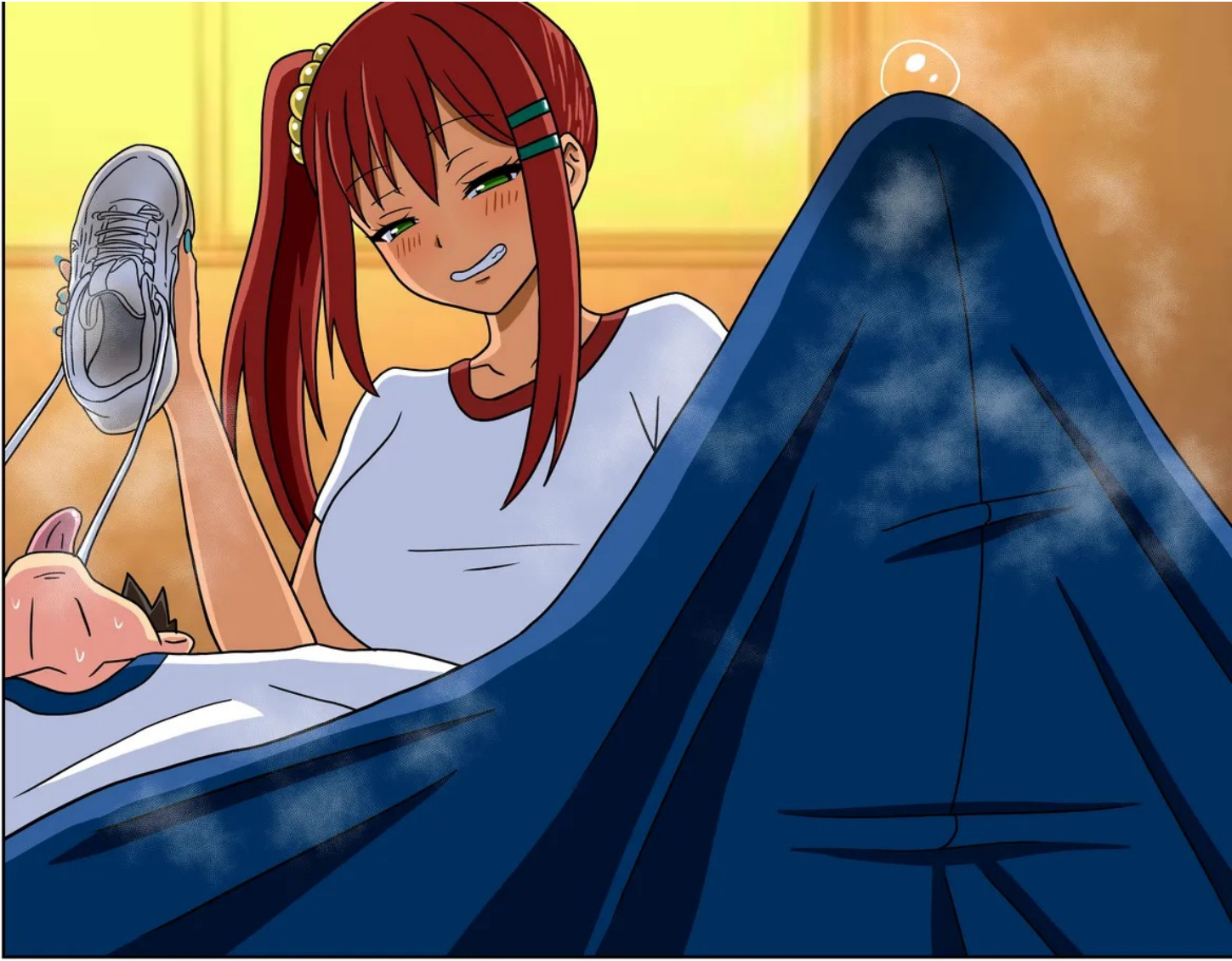
毛わ...♡



でもウチ
知ってるよ♡

まだまだ
こんなものじゃ
ないでしょ...♡

せ...♡





あっは笑



待たない♡

ふっ♡

へっへっへっ



そろそろ
かなあ…♡

ぽっ



ケイさんの
チンポ
やっぱあ…♡

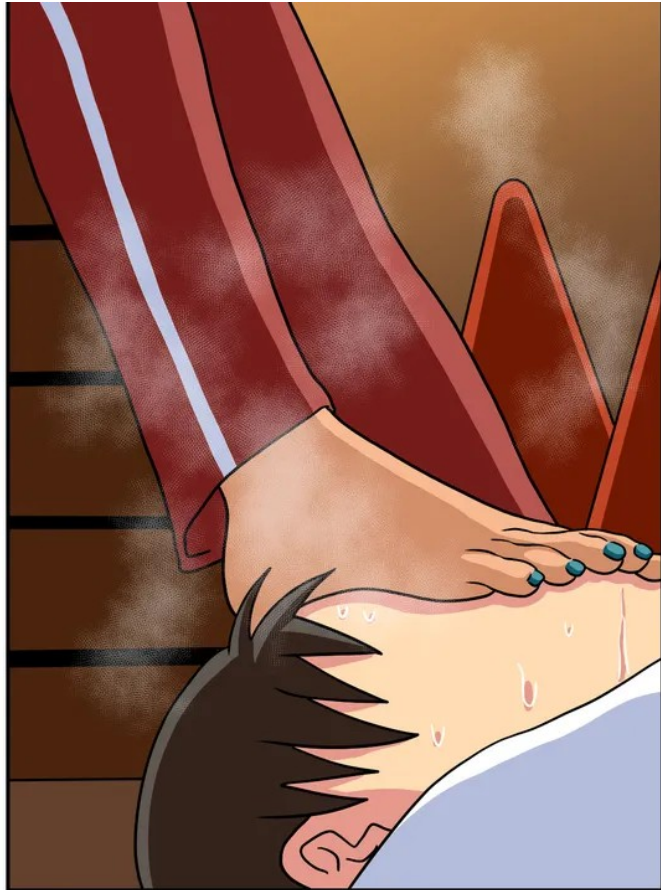
ドクドク
脈打ってるし♡

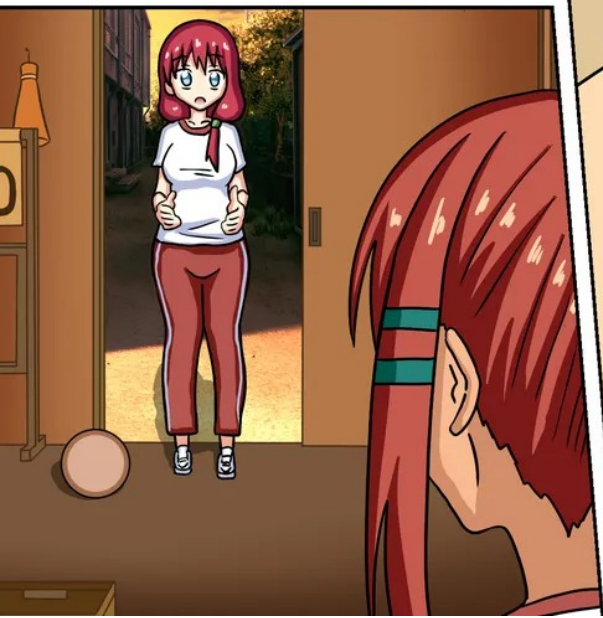
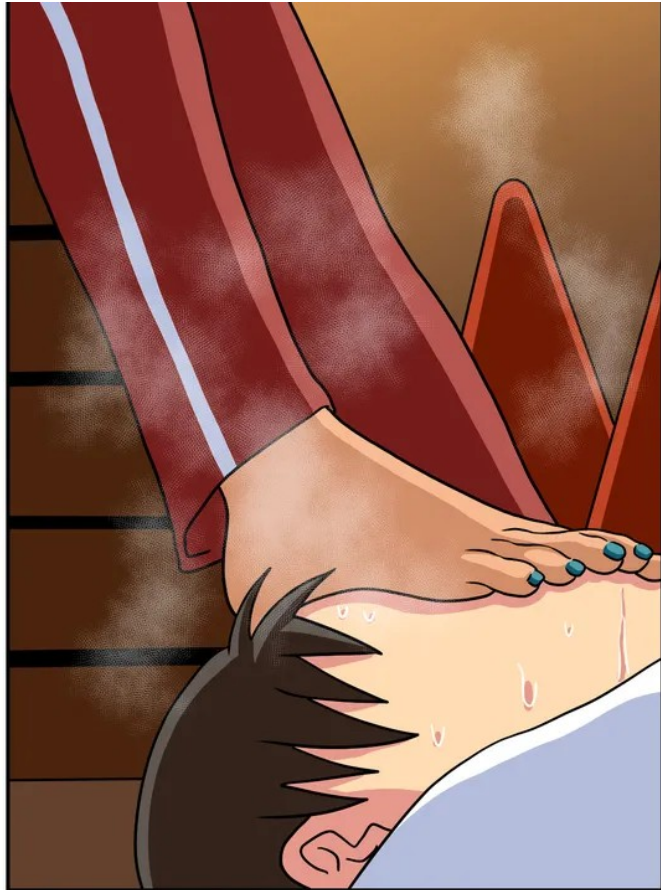
へっへっへっ

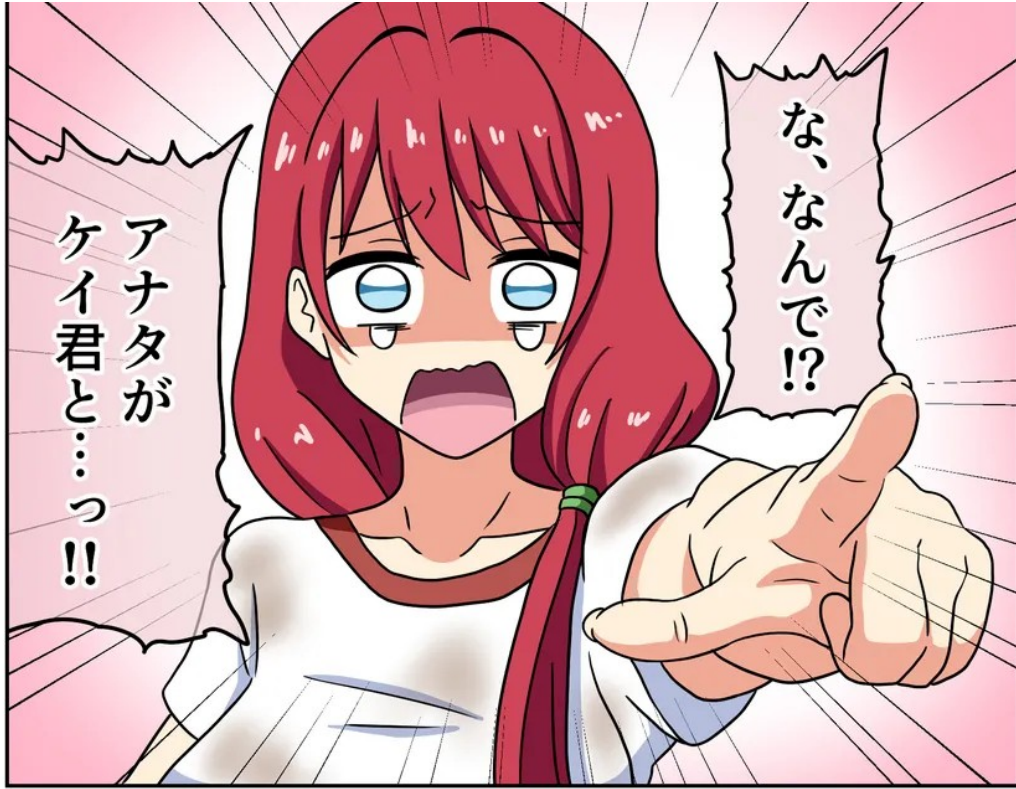


ん？

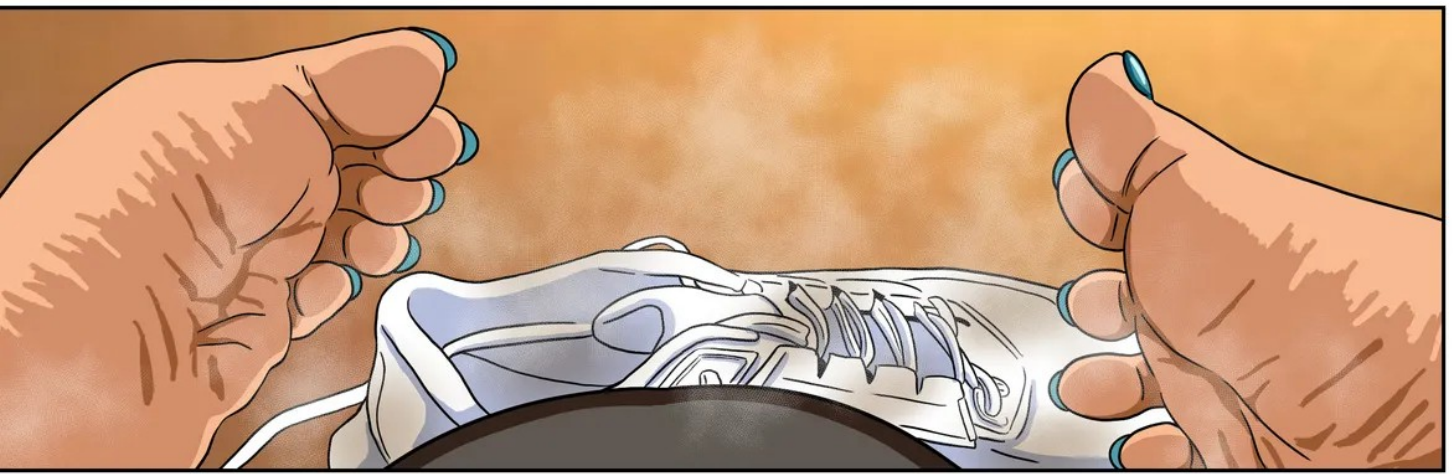
ゴゴゴ...













ゴゴゴゴ..

ハッ...!!



トウカの蒸れた足臭が
鼻から脳天を
突き抜けるううッ♡

ぐおおお♡
やべえええええっ♡♡♡



わ...

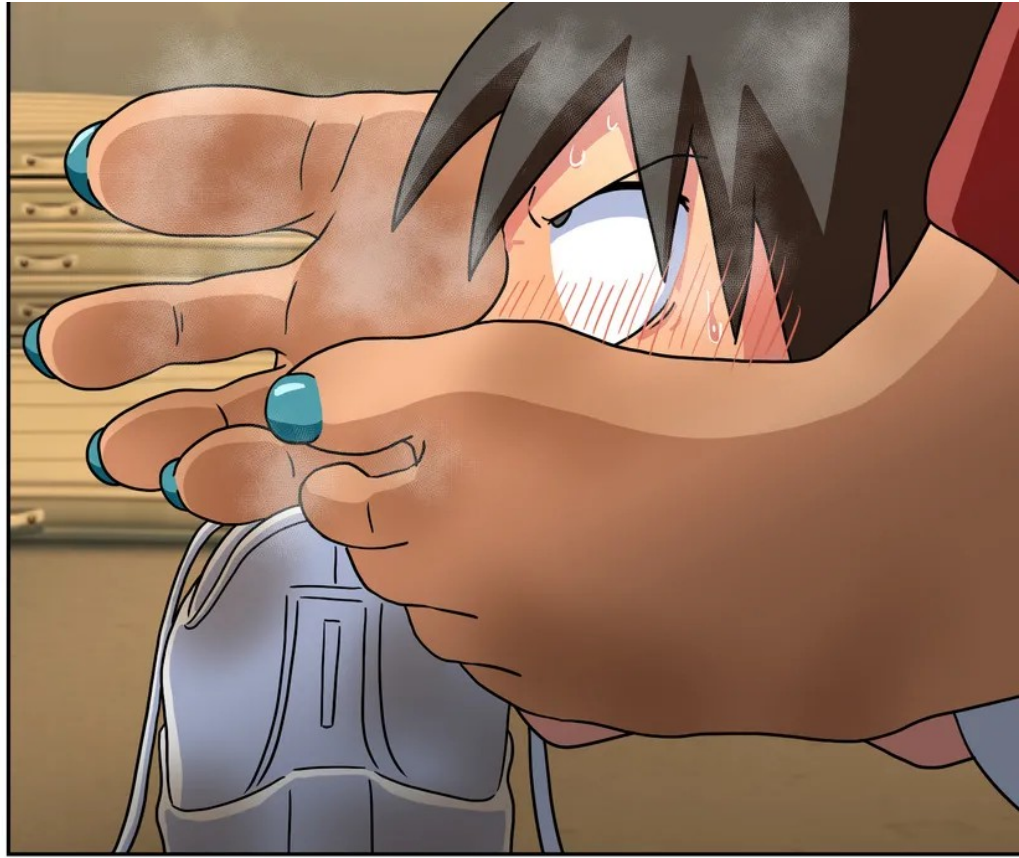


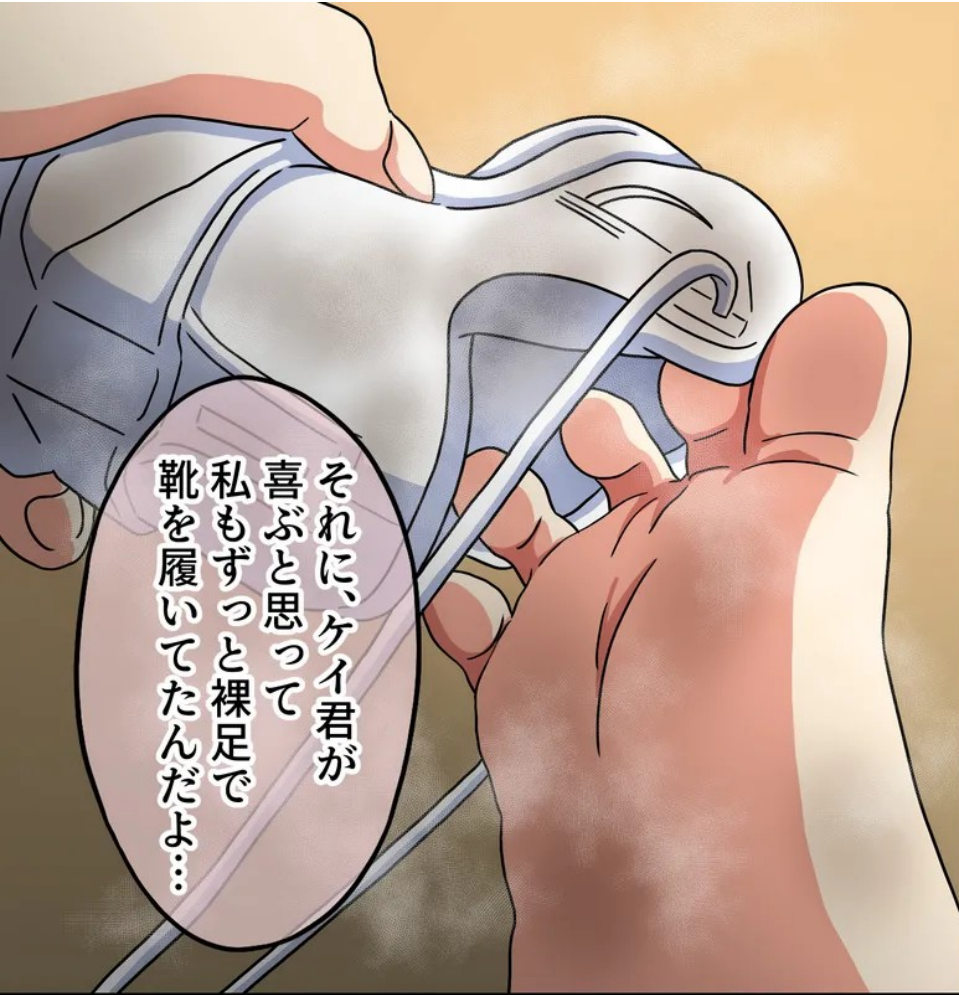
や、ヤバい！
チセを
悲しませたら...
アカネさんに
殺されるっ！



大好き
だもんっ!!

私の方がもつと
ケイ君のこと...





それに、ケイ君が
喜ぶと思って
私もずっと裸足で
靴を履いてたんだよ…

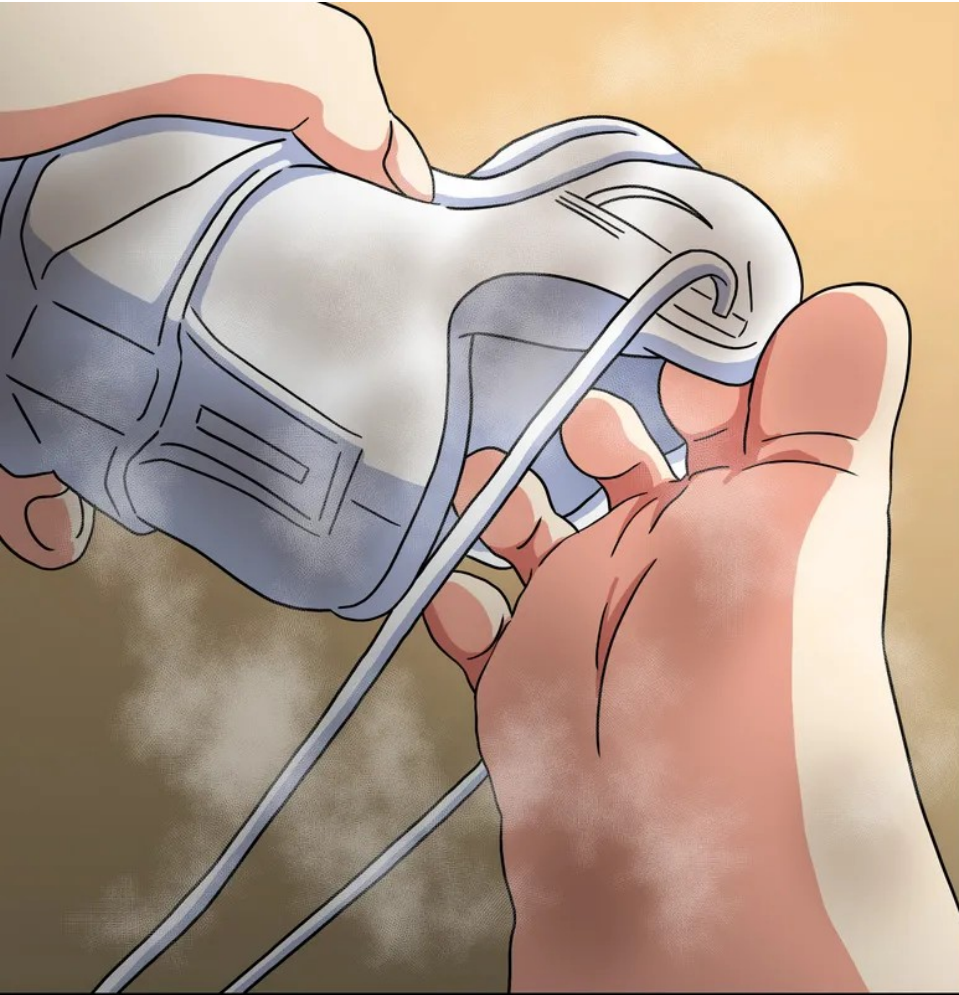


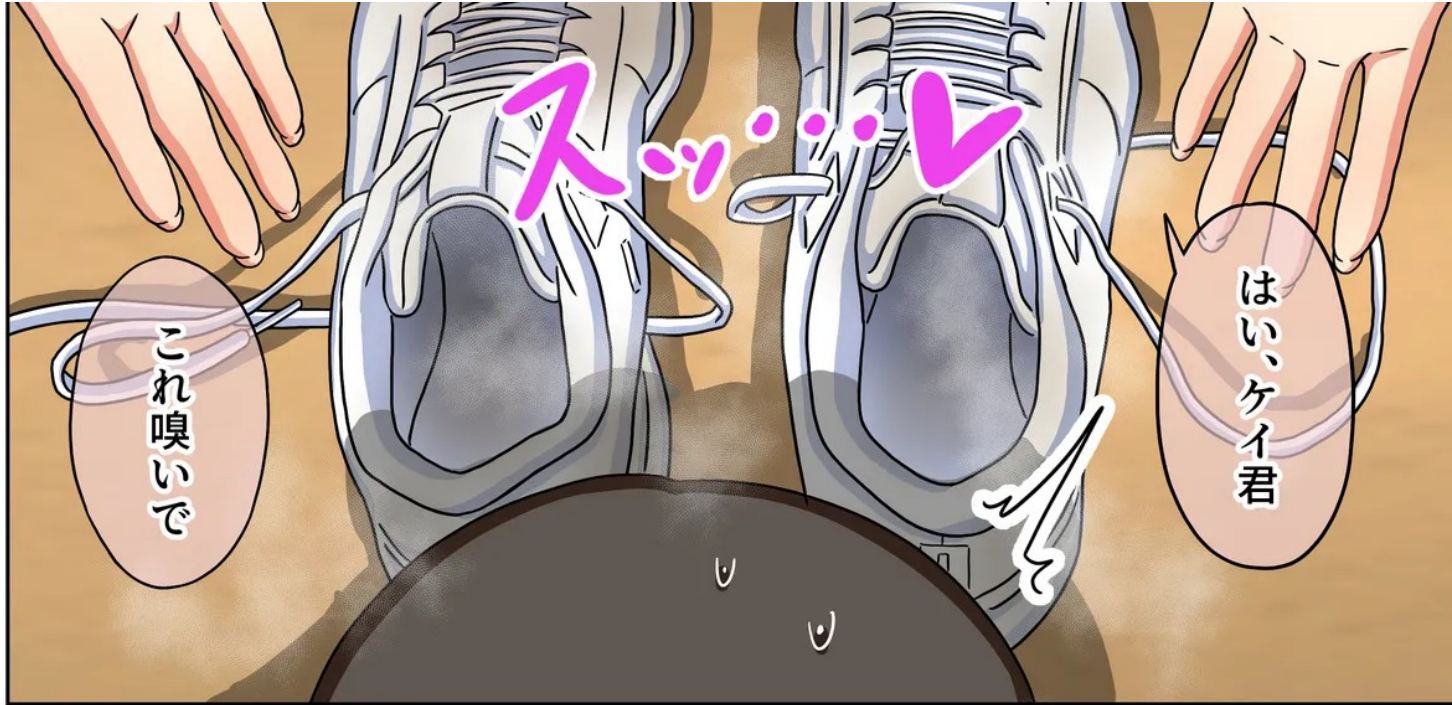
渡さないん
だからツツ!!

だ、だから…
ケイ君は
ぜったいに

毛

わぁ♡



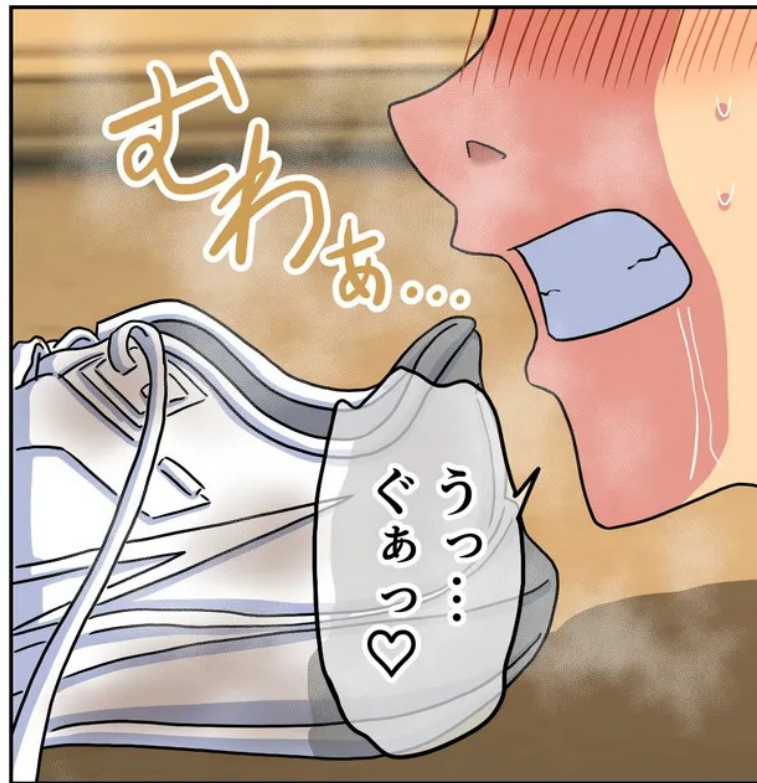


これ嗅いで

はい、ケイ君



や、やべえっ...♡



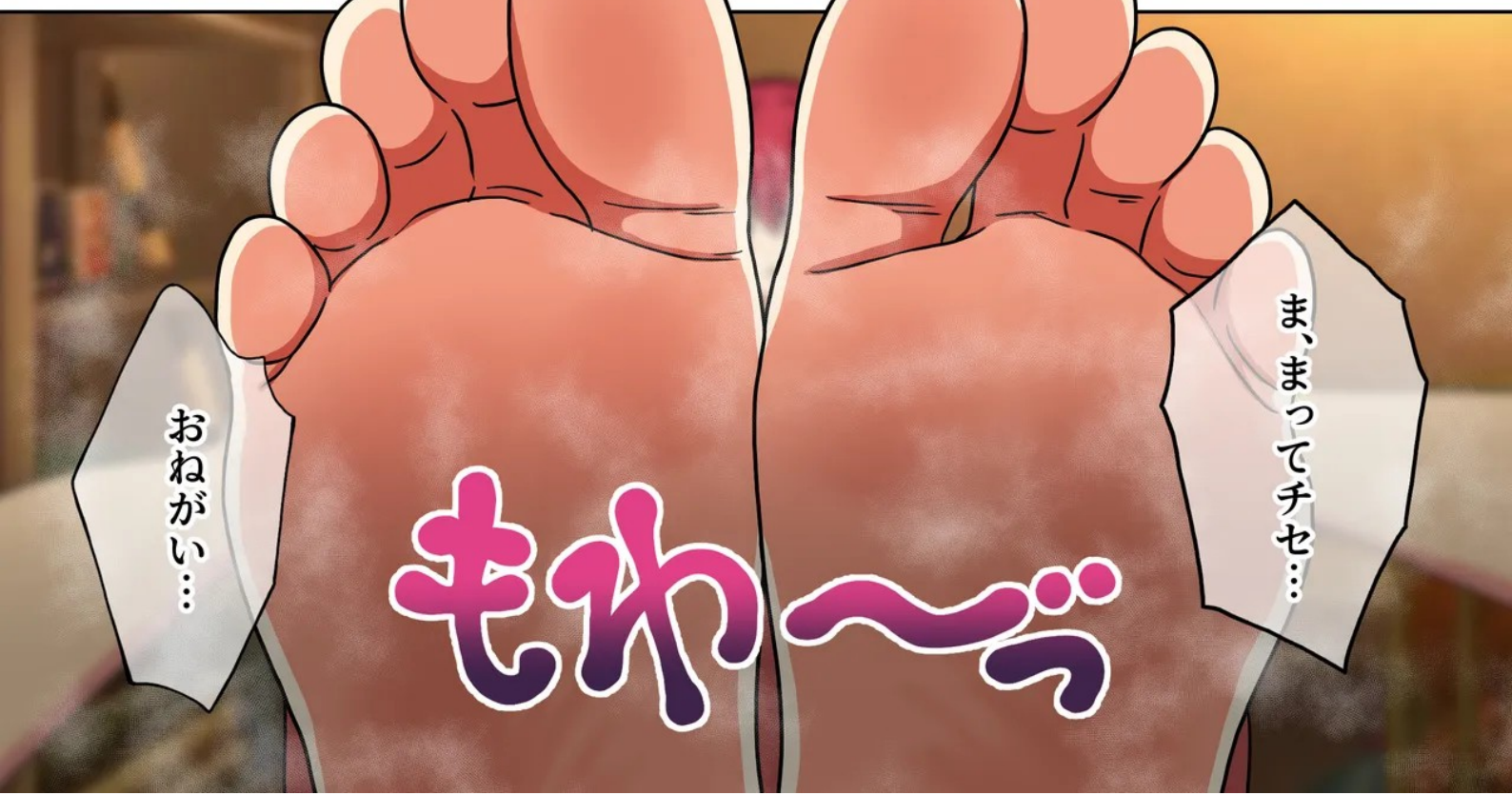
すわあ...♡

うっ...♡



すっごい艶かしい 香りになってる...♡

チセの 上品な匂いと 汗で蒸れた足臭が ブレンドされて...









そういう顔に
なるなるっ!!

チセ、分かるよっ!



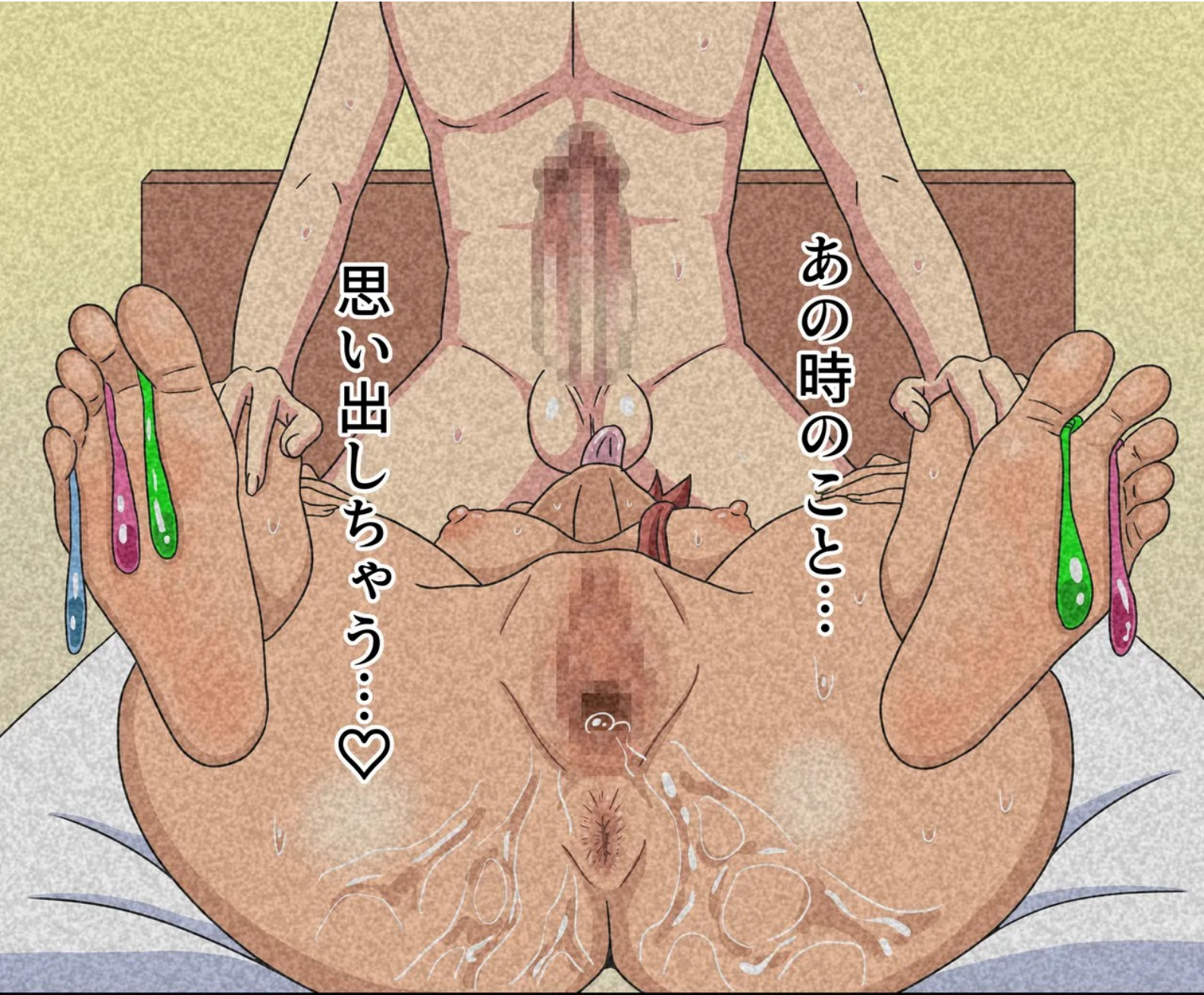
ケイさんのチンポって
筋肉ついてんのっ!?



ウチらの足の臭いを
嗅がせすぎた…?!

てか、ちよつと
マズイかも…♡





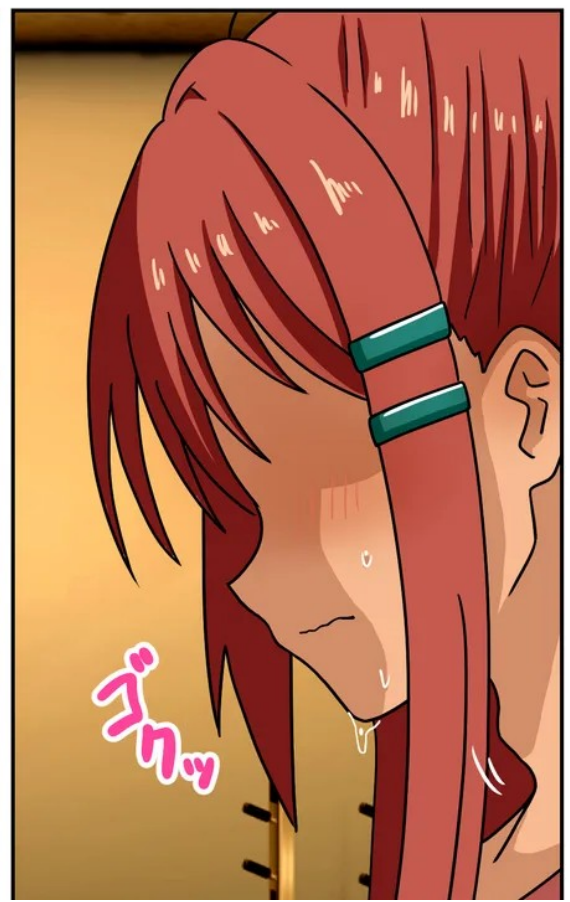
思い出しちゃう…♡

あの時のこと…

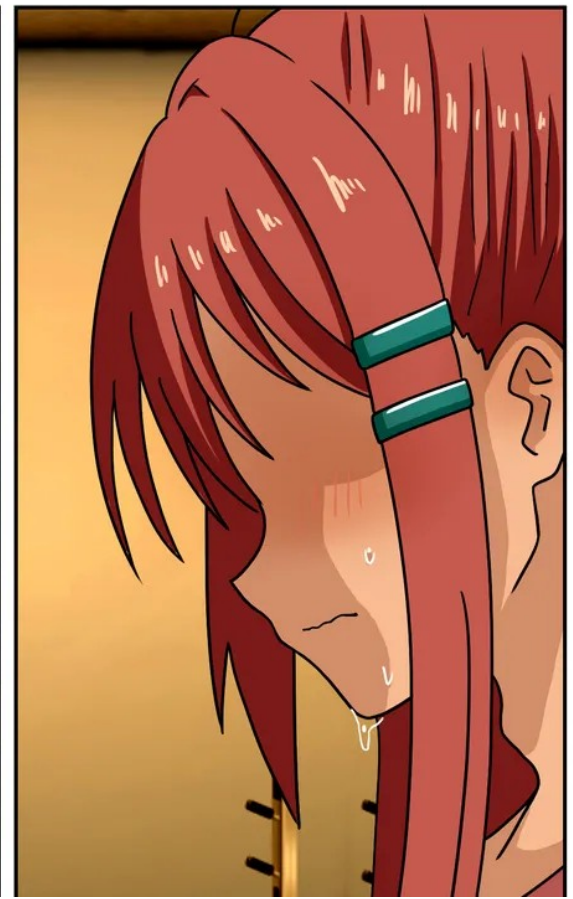


チセ…
ここは一旦
休戦にしない？

…えっ？



ゴクッ





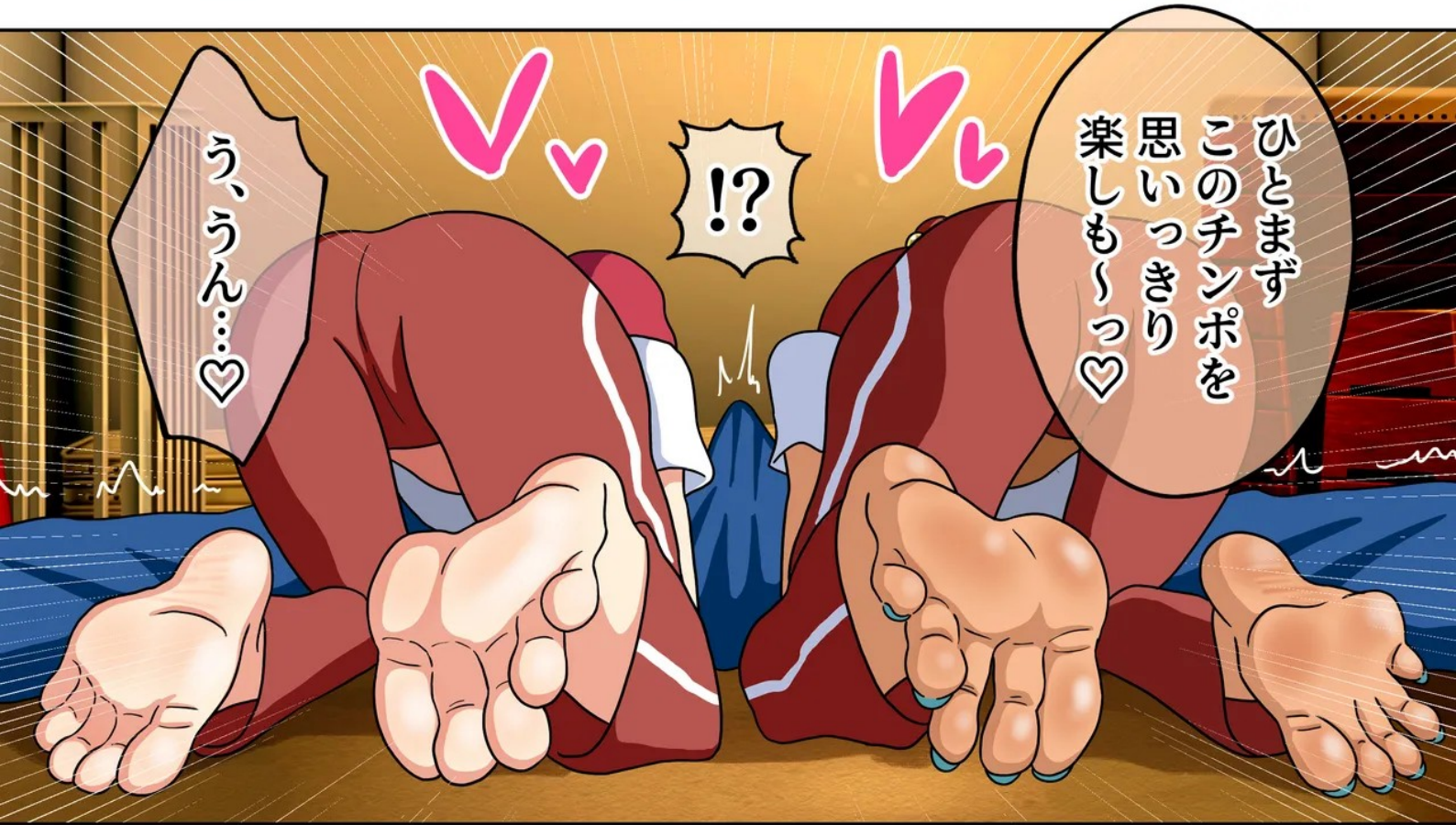
でしょあ〜?

だからさ…

ニヤッ…



このチンポ
見たでしょ!?
こんなの見せられて
我慢できるの?



う、うん…♡

!?

ひとまず
このチンポを
思いっきり
楽しもう♡

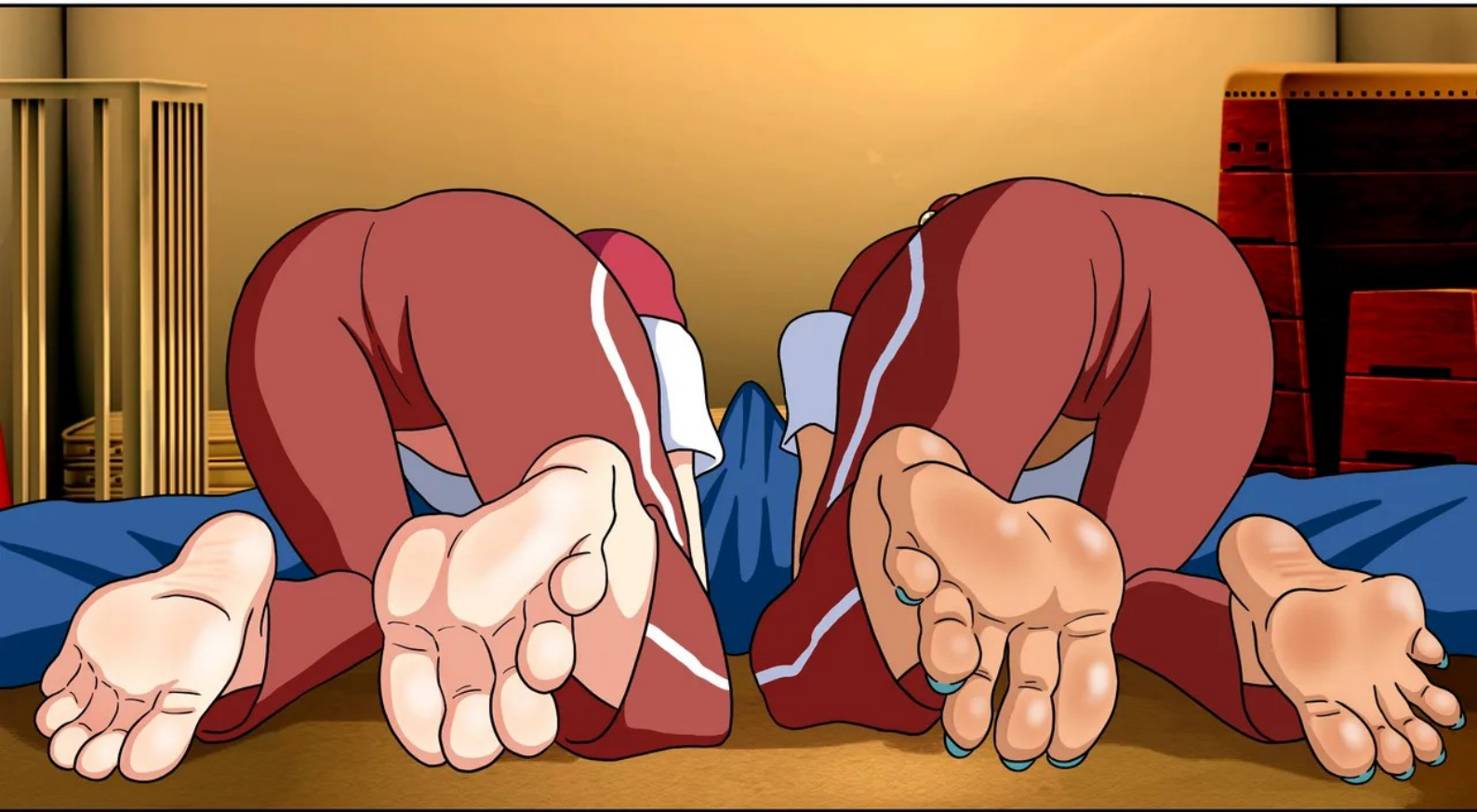
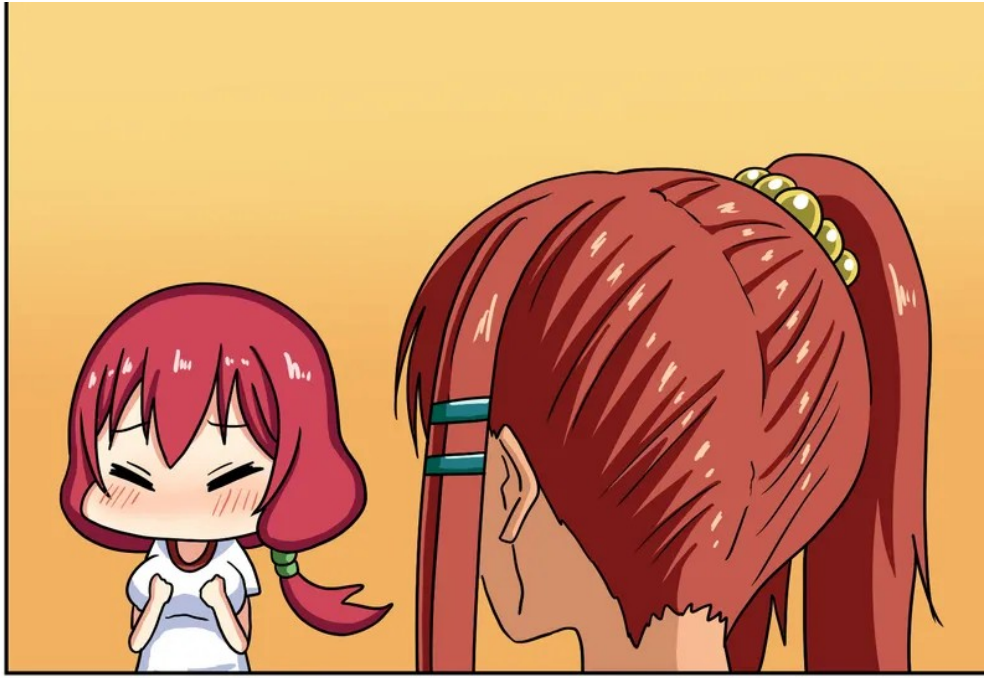


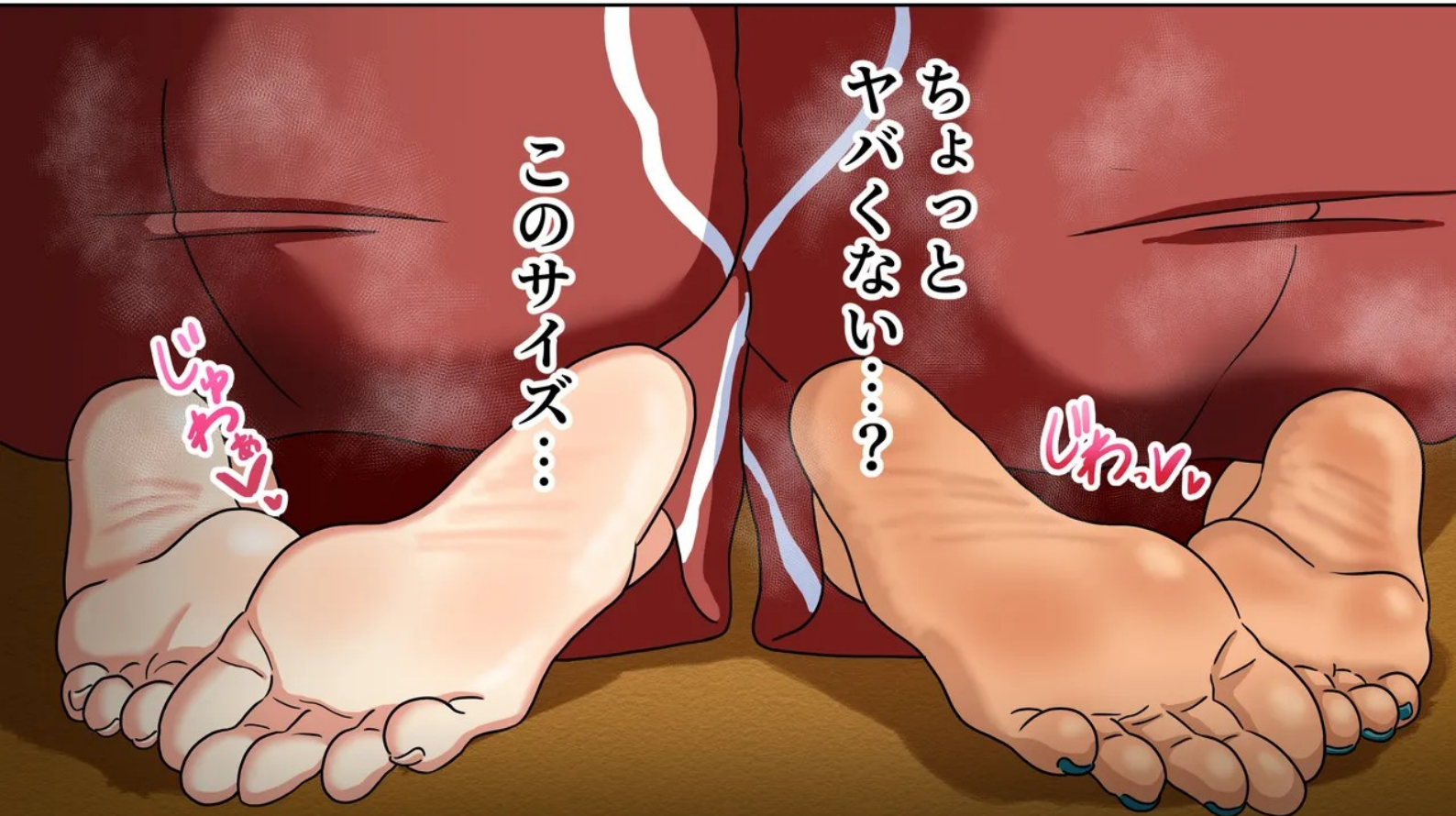
こんな
凶悪なチンポ
目の前にして
落ち着いて
いられるか
っっ…

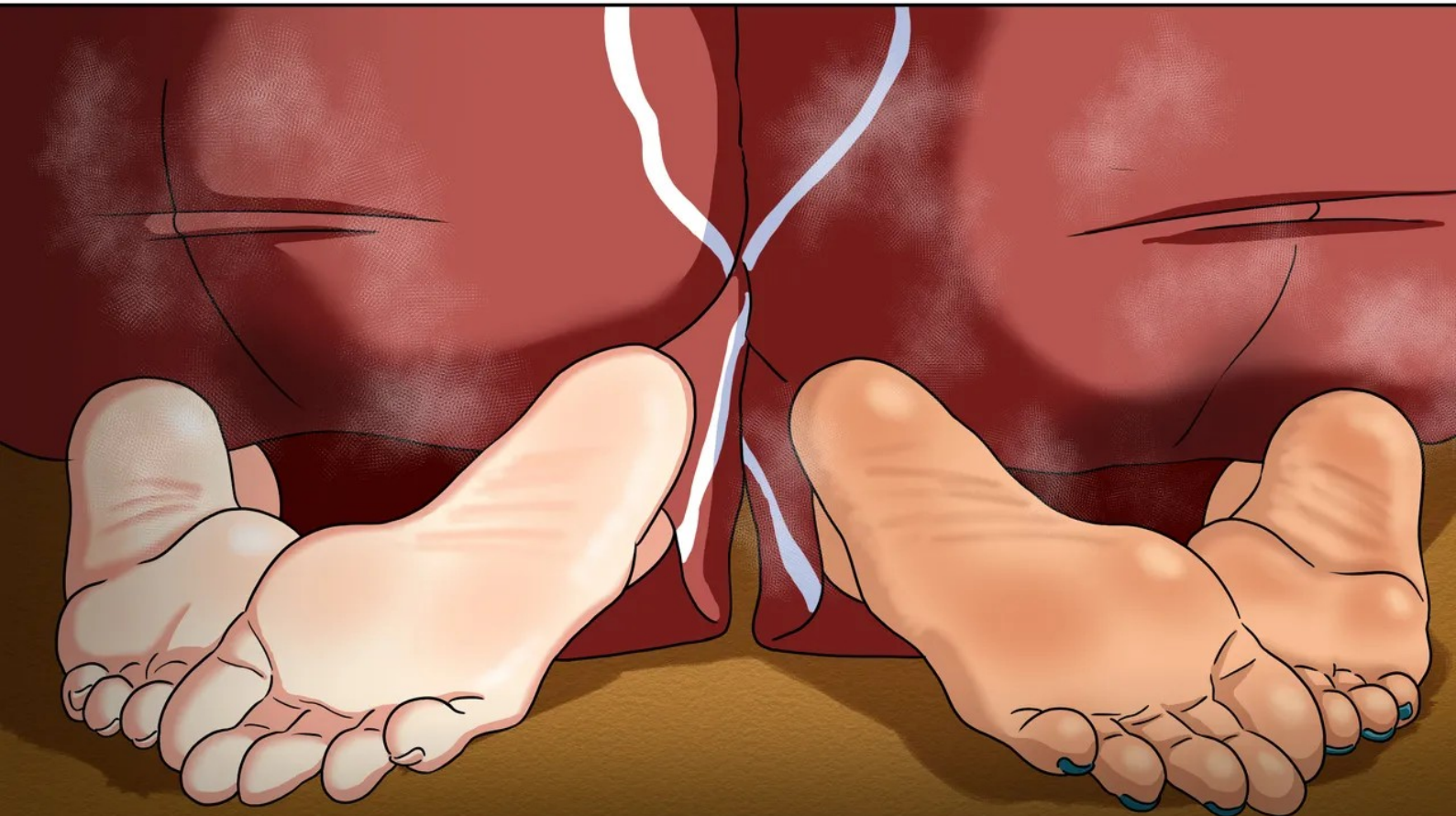
がるん♡



ふ、2人とも
落ち着いて!









サイズだけじゃない！
匂いもすごっ♡♡

これ絶対に
女の子が嗅いじや
ダメなやつだッ♡



ホントはウチが
ケイたんを
独占したかったけど…

こんなの挿れられたら
ウチのおマンコ
ぶっ壊れちゃうし…

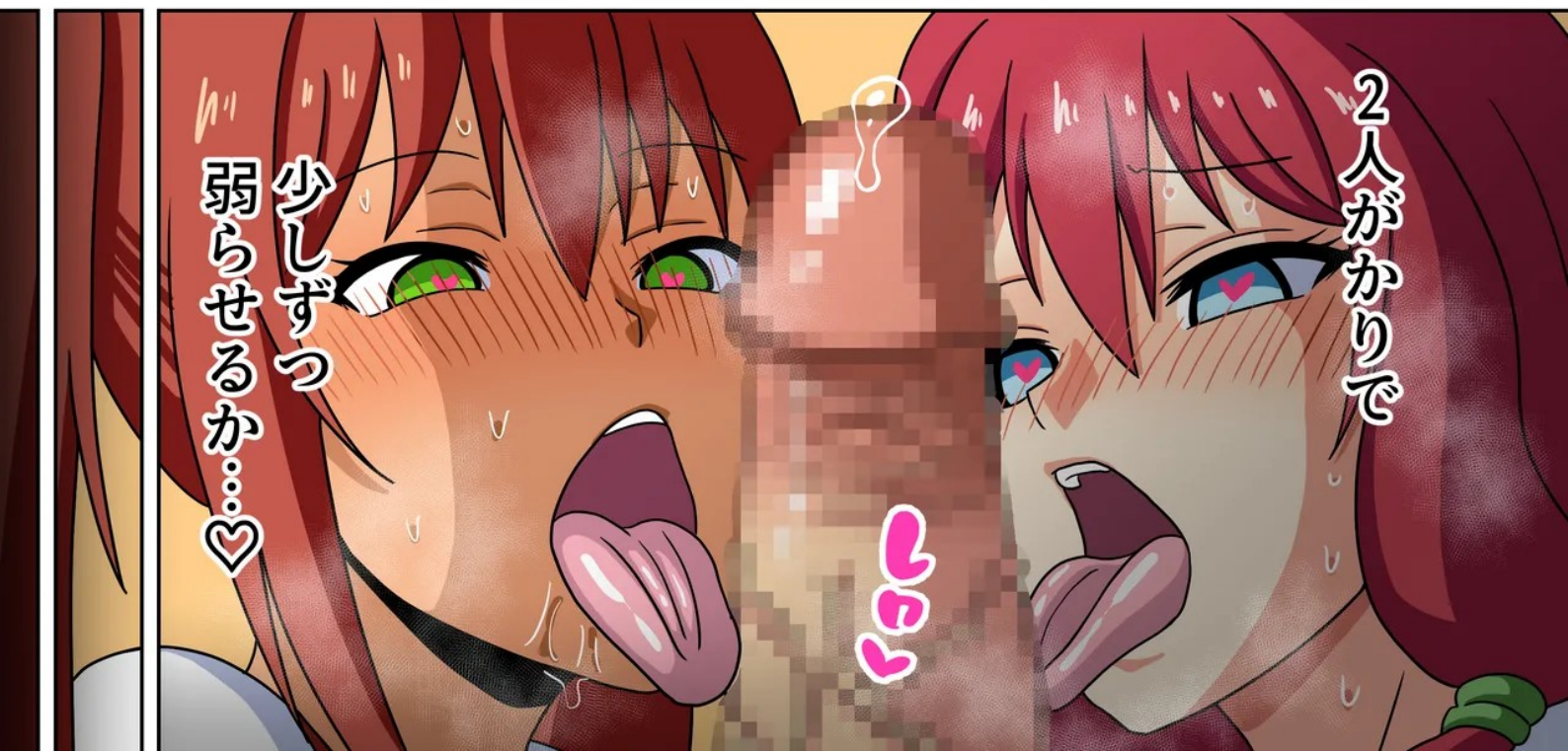


あゝあ…♡
チセは完全に
キマっちゃったみたい…♡

もうチンポのことしか
考えられないって顔してる♡

んぽ♡

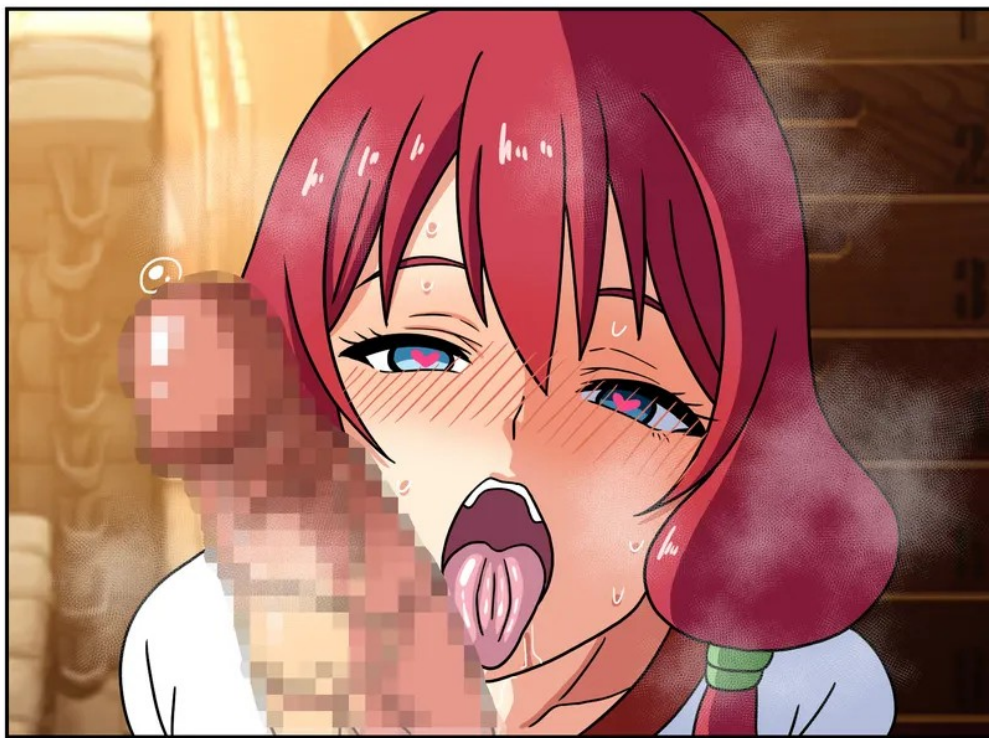
んぽ♡



2人がかりで

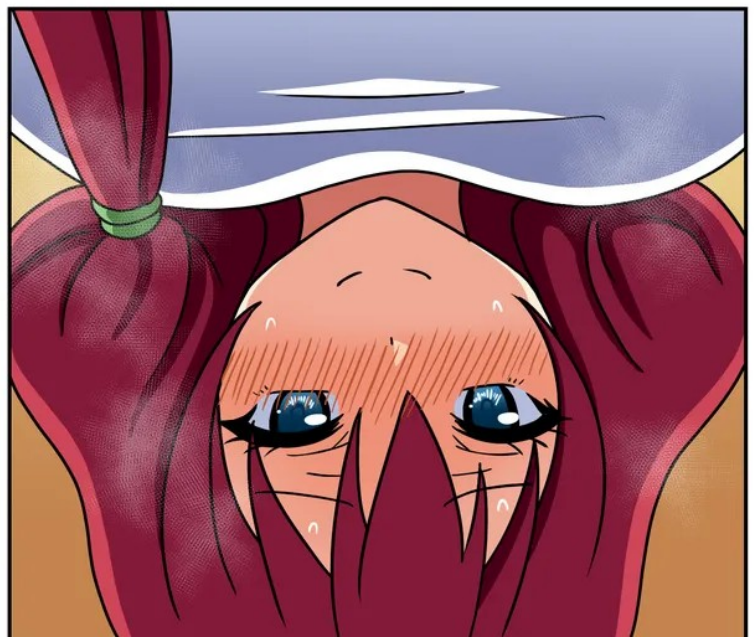
少しずつ
弱らせるか…♡

んぽ♡

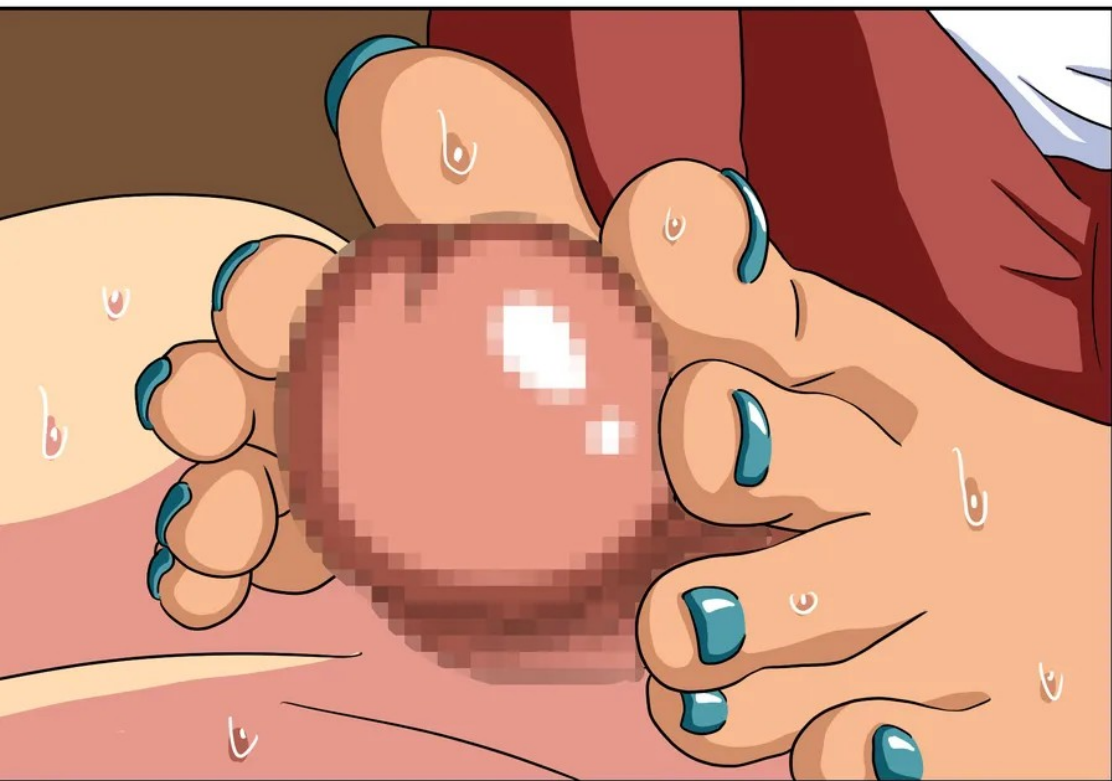
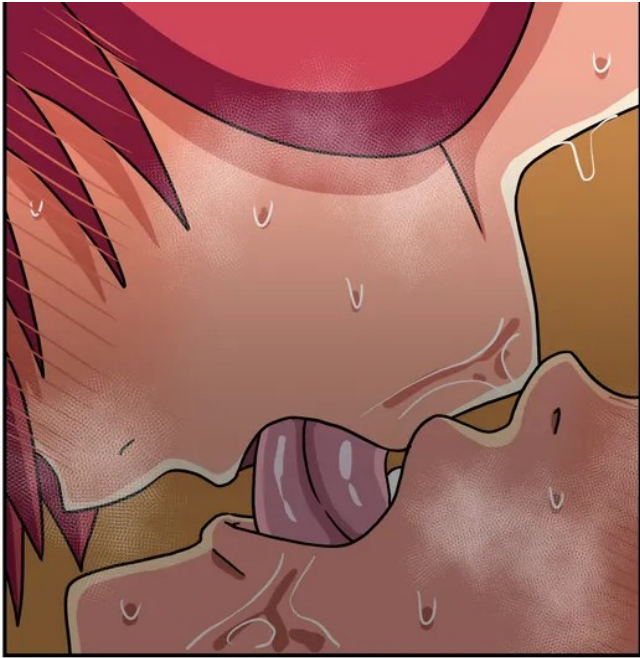


数分後！













じゃあ交代ね
チセ!

う、うん…っ



おっおっ

うん

うん



ケイたくん♡
これでへばるわけ
ないっしょ?♡

休むヒマなんて
与えないかんね♡

毛水お…♡



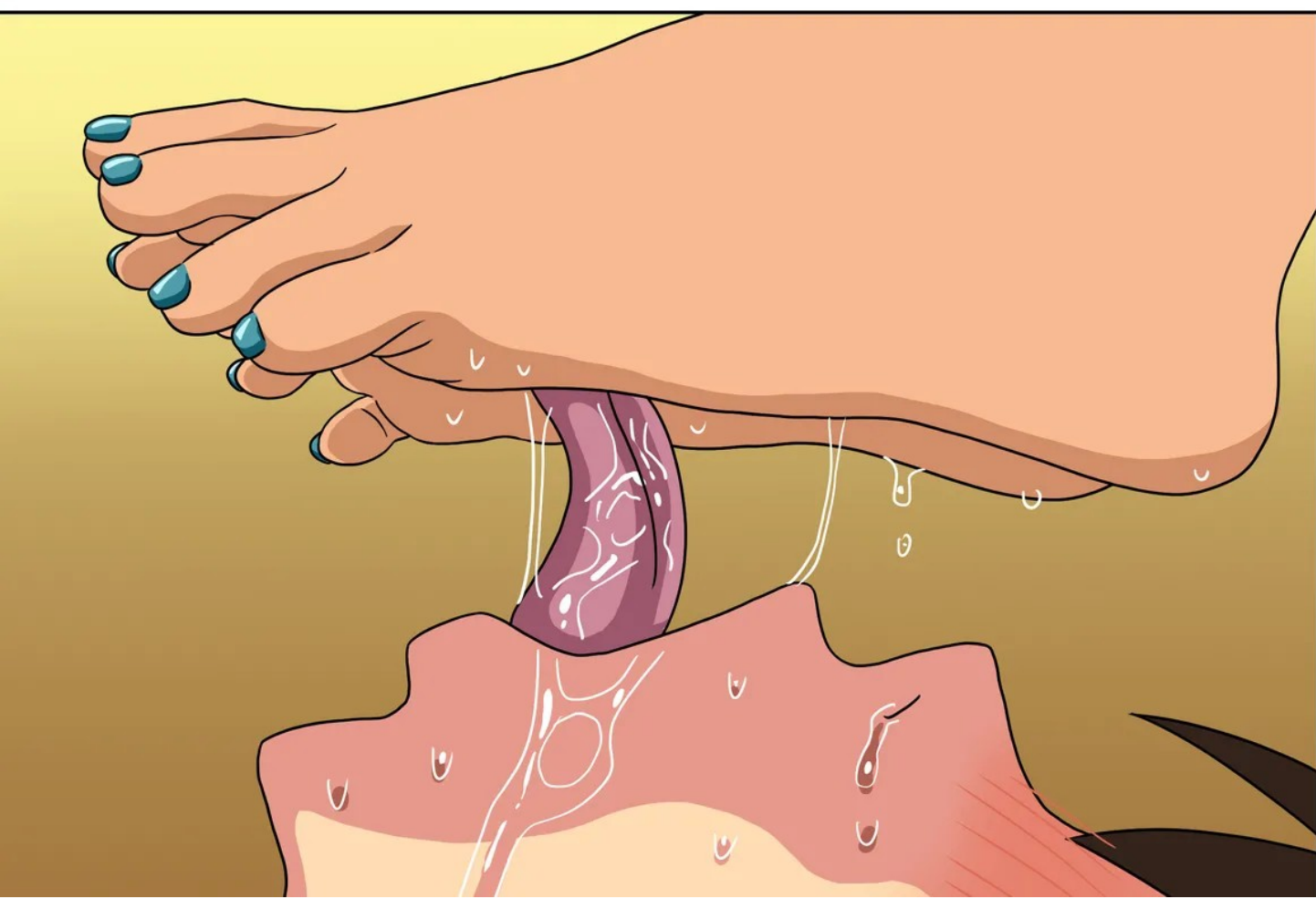
















これ絶対
無理なやつ...♡

あ...



必死なケイ君
かわいい♡

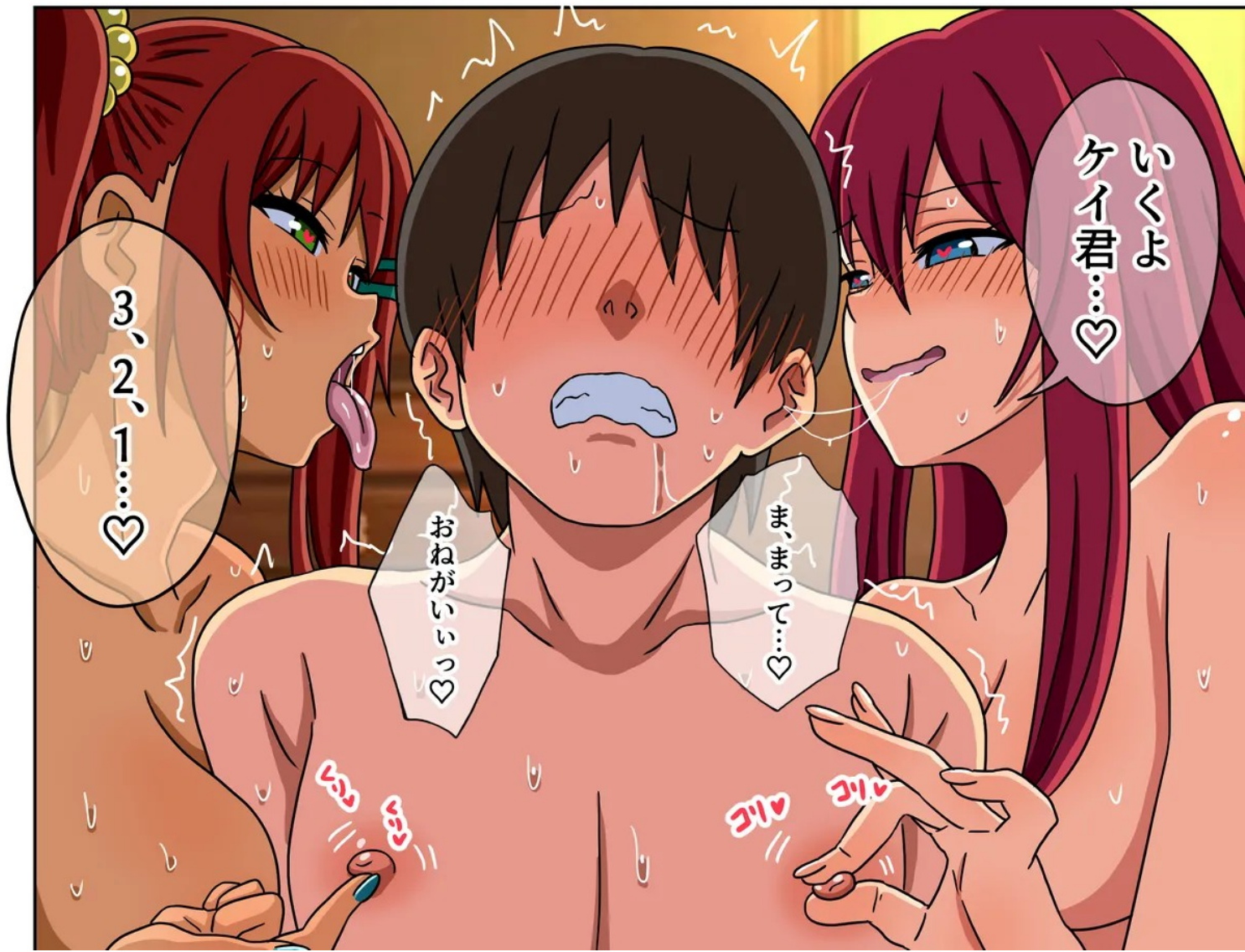
チンポは
かっこいいのに
持ち主は情けなく♡

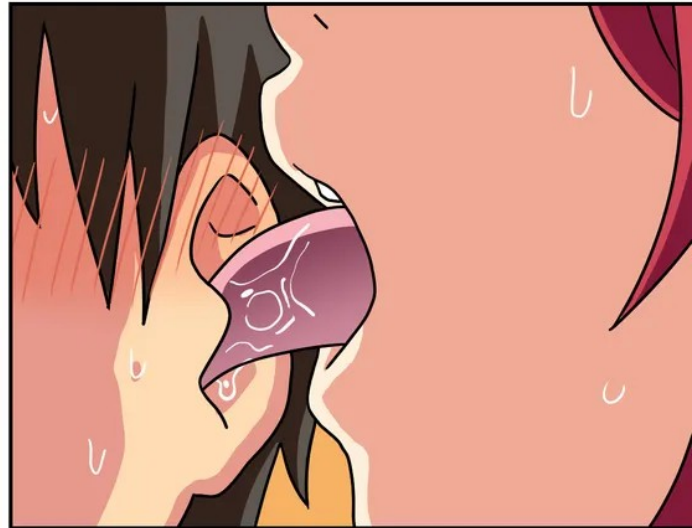
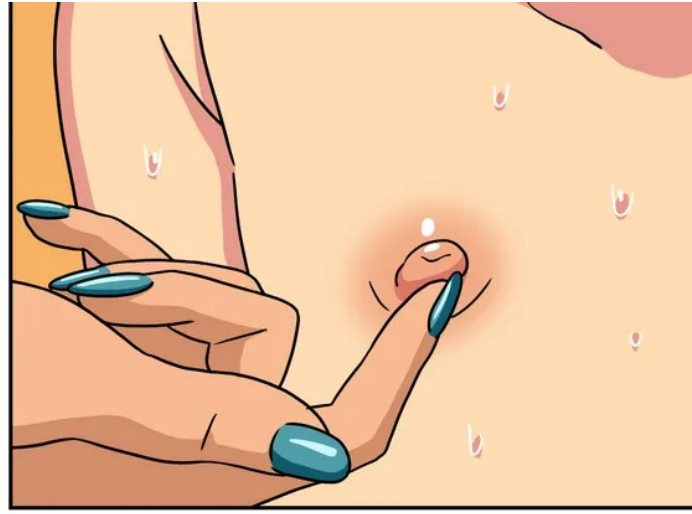
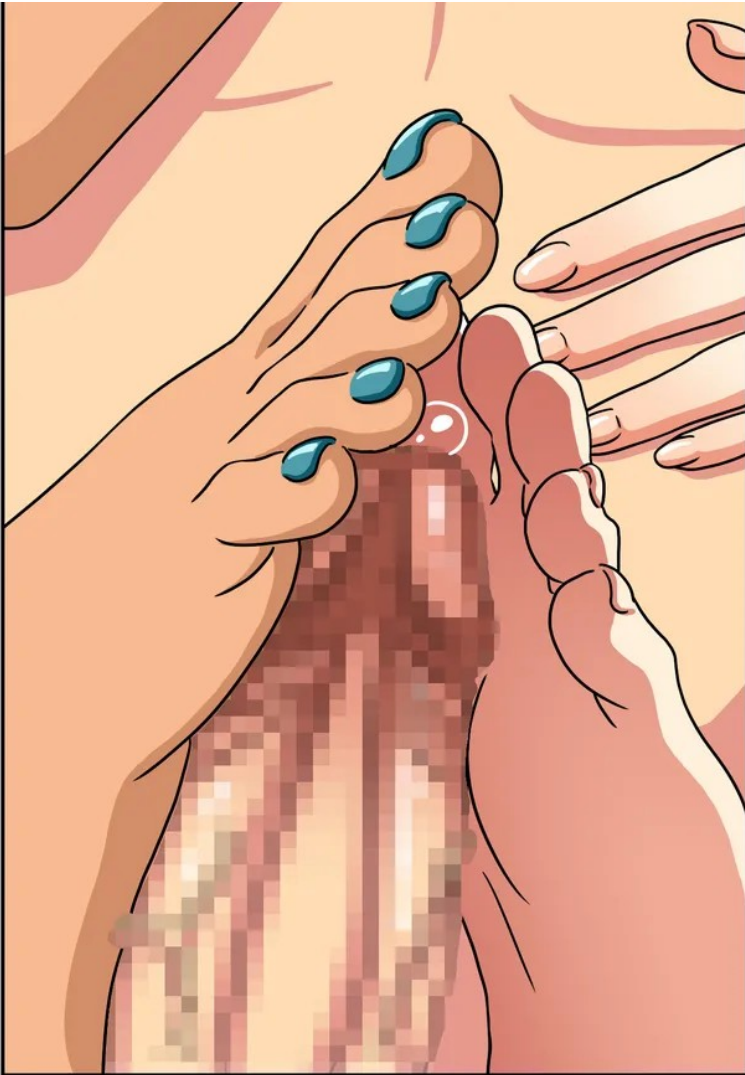
きゃほっ♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡













どうした？
イノリ



ちーちゃん達が
いないんです



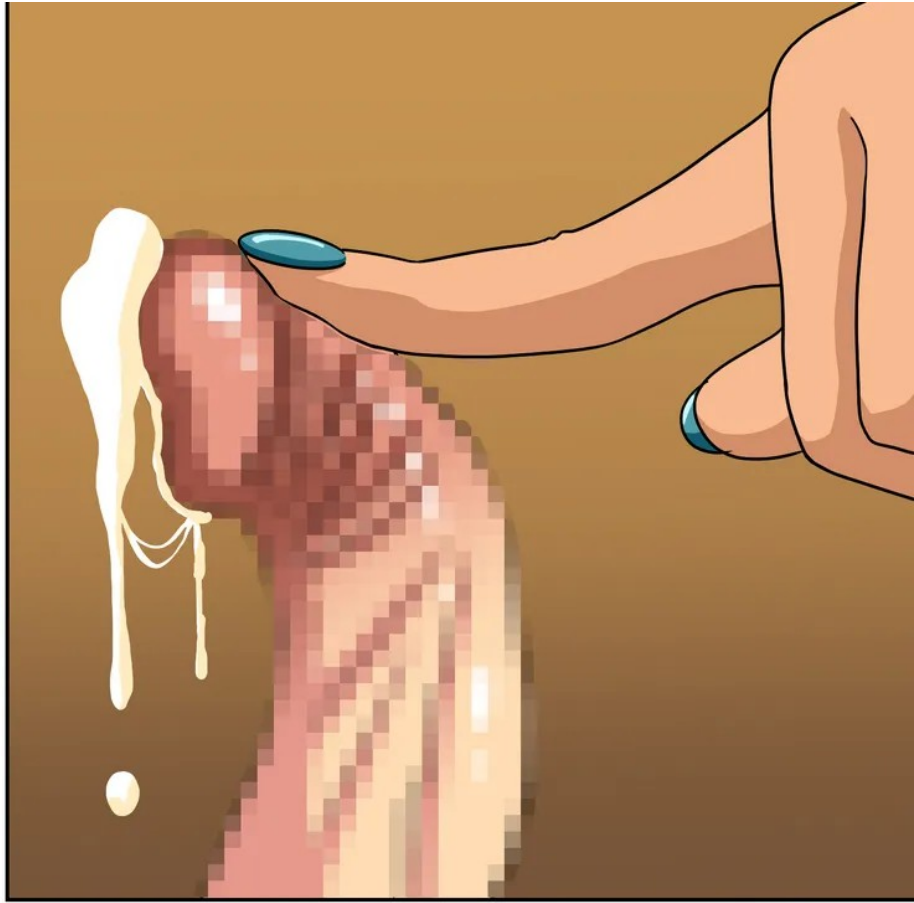
チセには器具を
倉庫へ片付けるよう
頼んだはずだが…

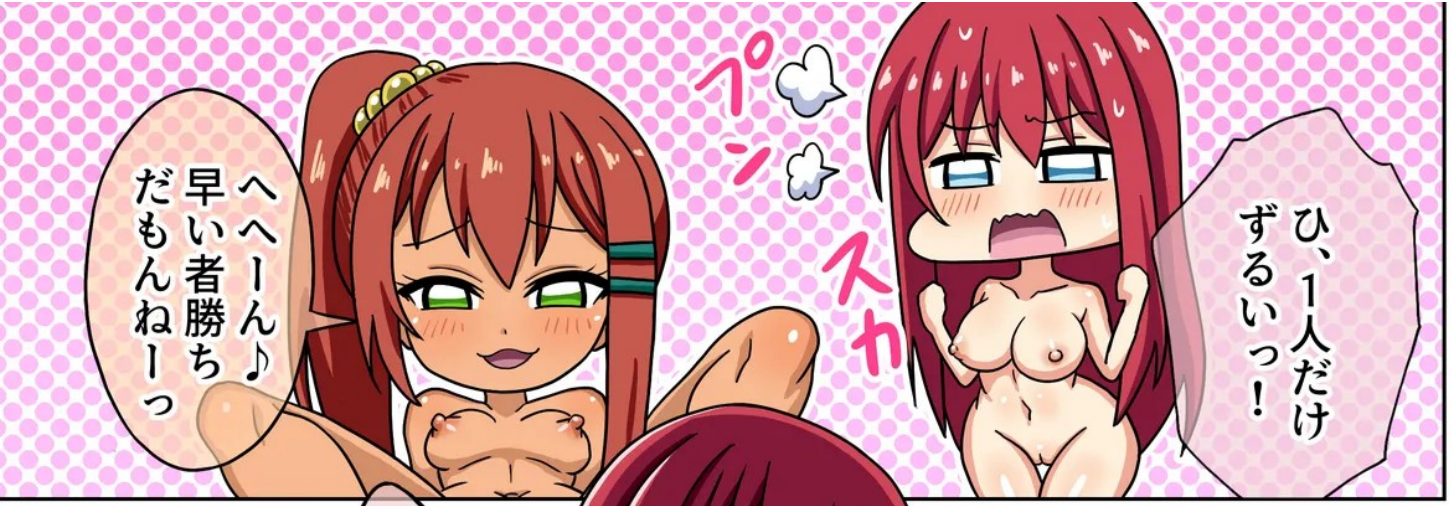
まさか…











へへーん♪
早い者勝ち
だもんねーっ

ひ、1人だけ
ずるいっ!

パン
スカ



わ、私だって...!
恥ずかしいけど...っ

み、見て...
ケイくん

ちーちやーん

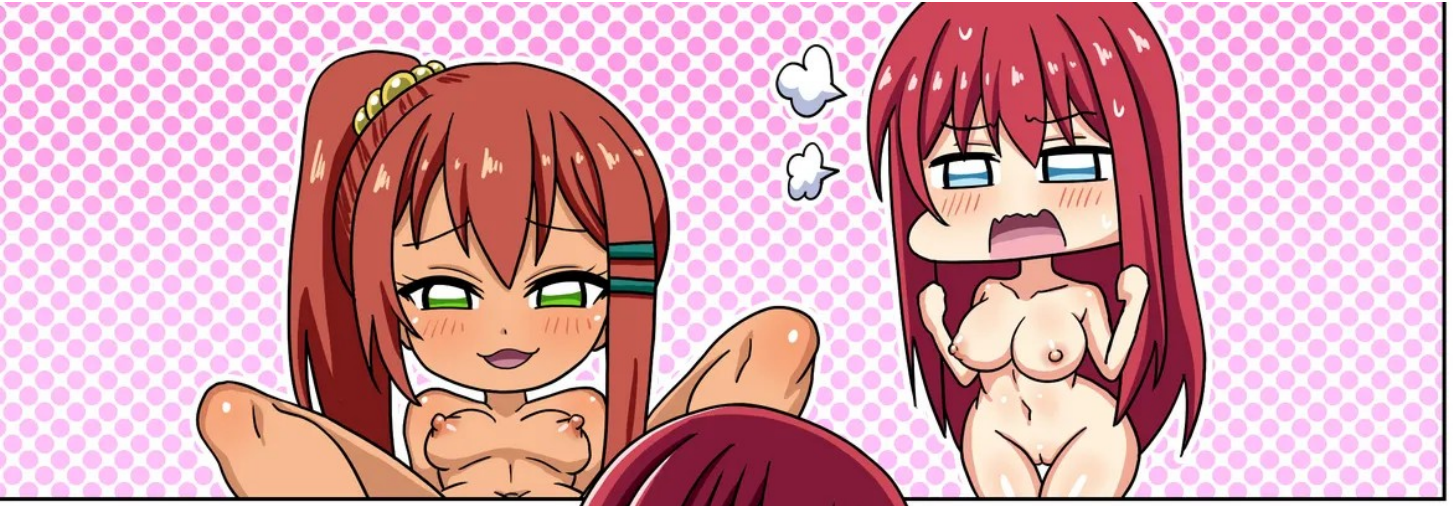
!?

ぱん



イノリ!?

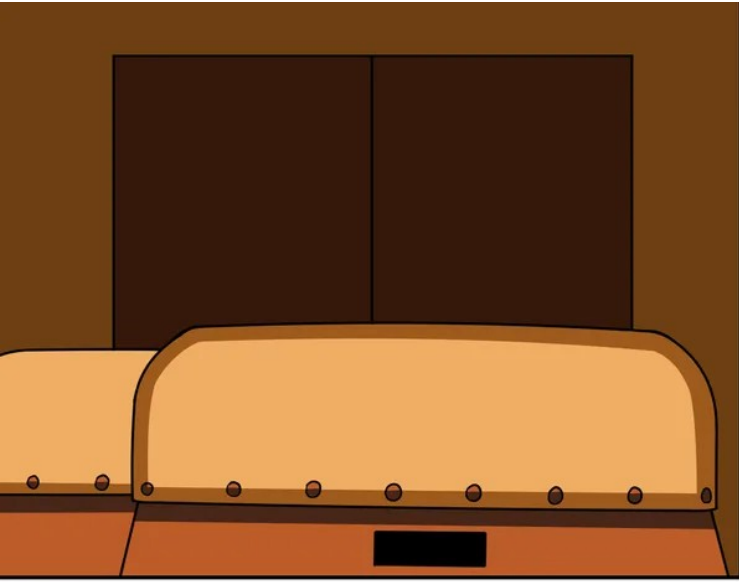
中に
いるの...?











イノリが
私たちを探してる…
早く戻らなきゃ…

でも…うわあ…♡
ケイ君のおちんちん…
私の太ももの中で
ドクドク脈打ってるよお…♡

